

第3部 調査結果の詳細

第1章 「～大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン」について

1 各戦略の施策に関連する事柄についての満足度（問1-1、問1-2）

プランの各施策に関連する事柄について、満足度を「十分（5）」～「不十分（1）」の5段階で質問した。

(1) 戦略1 産業・雇用戦略について

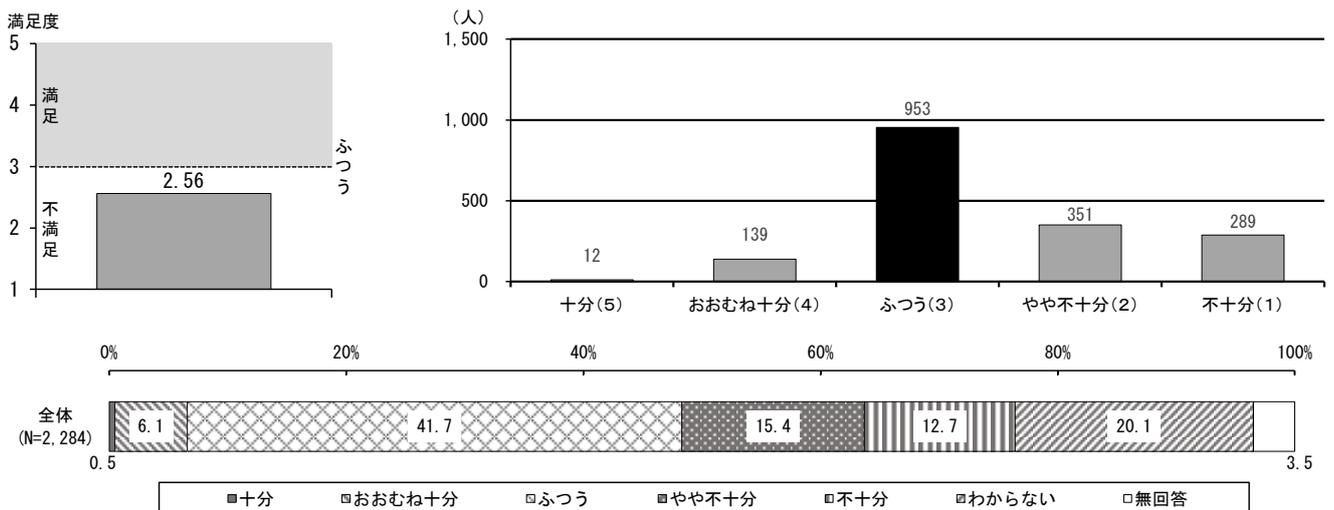
ア 産業構造の変化に対応した県内産業の競争力の強化

問1-1-1 生産性が向上するなど、県内産業の競争力の強化が図られている。

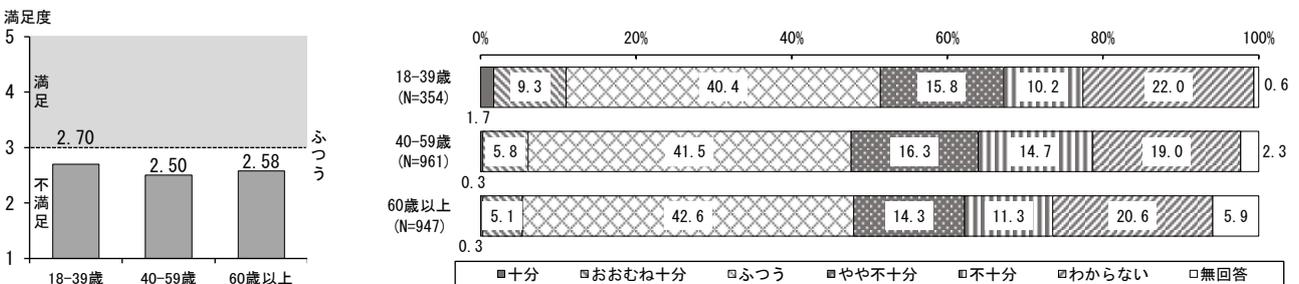
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.56で、「ふつう」の3より0.44低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は6.6%、「ふつう」は41.7%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は28.1%であった。また、「十分」と「おおむね十分」であると感じている人と「ふつう」を合わせた割合（以下「不満を感じていない人の割合」）は48.3%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は2.70で最も高く、不満を感じていない人の割合は51.4%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.50で最も低く、不満を感じていない人の割合は47.6%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した 640 人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、172 人(26.9%)から回答があった。

回答の一部

- 県内企業の経営が旧態依然として、新人教育、若者の魅力あふれる職場になっていないのではないか(女性/70歳以上/秋田地域)
- リスキリングできる土壌、環境が不十分。訓練できる分野は製造か介護くらいで、もっと幅広い分野を訓練できる環境が必要。(男性/40歳代/仙北地域)
- 事業承継についての啓発をもっとしていただければと思います。後継者不在が目立ち、需要と供給バランスがとれていなかったり、伝統的技術が途切れたりしています。(女性/50歳代/平鹿地域)

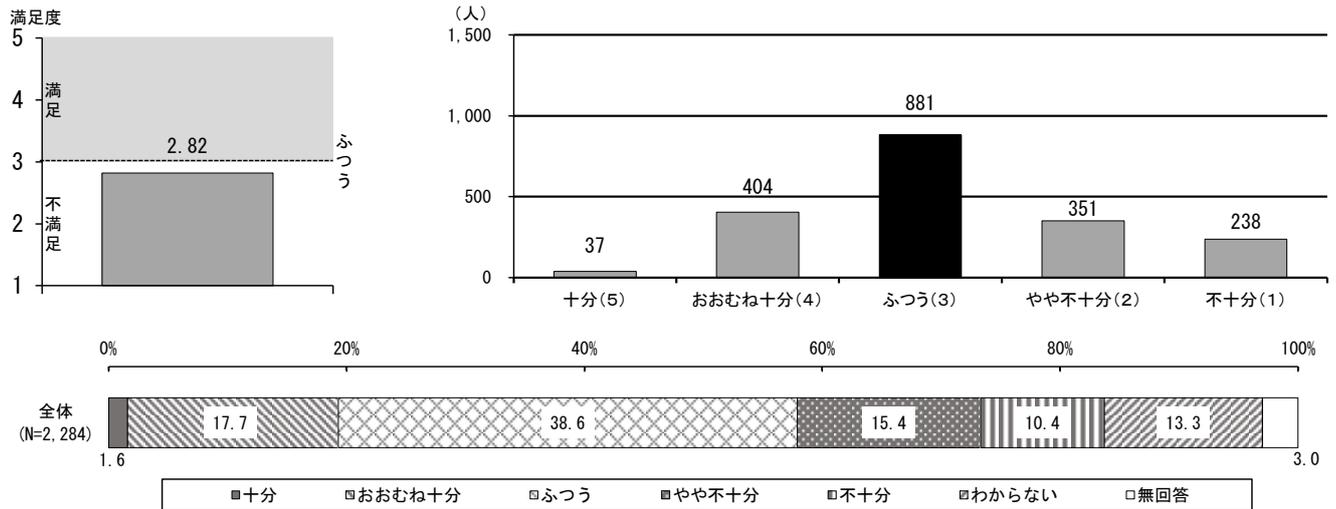
イ 地域資源を生かした成長産業の発展

問 1-1-2 輸送機、新エネルギー、情報、医療分野等の成長産業への参入が進んでいる。

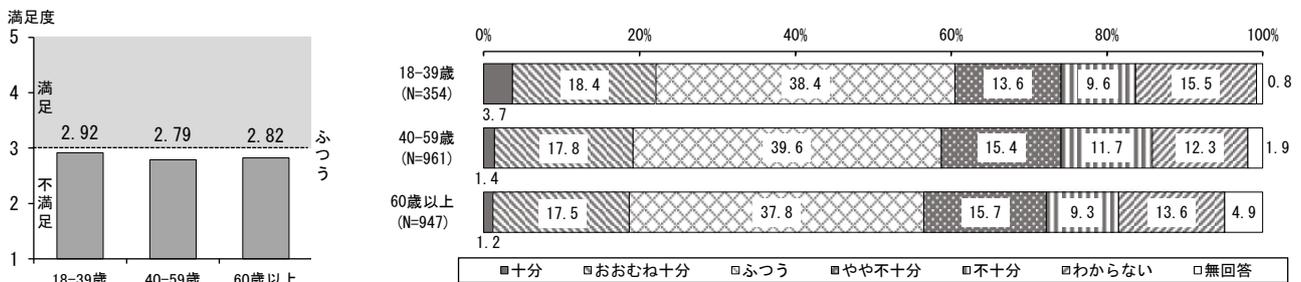
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.82で、「ふつう」の3より0.18低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は19.3%、「ふつう」は38.6%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は25.8%であった。また、不満を感じていない人の割合は57.9%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は2.92で最も高く、不満を感じていない人の割合は60.5%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.79で最も低く、不満を感じていない人の割合は58.8%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した589人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、135人(22.9%)から回答があった。

回答の一部

- 風力発電を除くと全体的に成長産業への参入が進んでいるとは言えない。(男性/70歳以上/秋田地域)
- 新エネルギーに力を入れているのは目に見えているが、それ以外、特に医療や福祉に関しては全くだと思ふ。(女性/30歳代/秋田地域)
- 他業界は分かりませんが、情報業界の県内企業数は他県と比べて少なく感じます。(男性/40歳代/秋田地域)

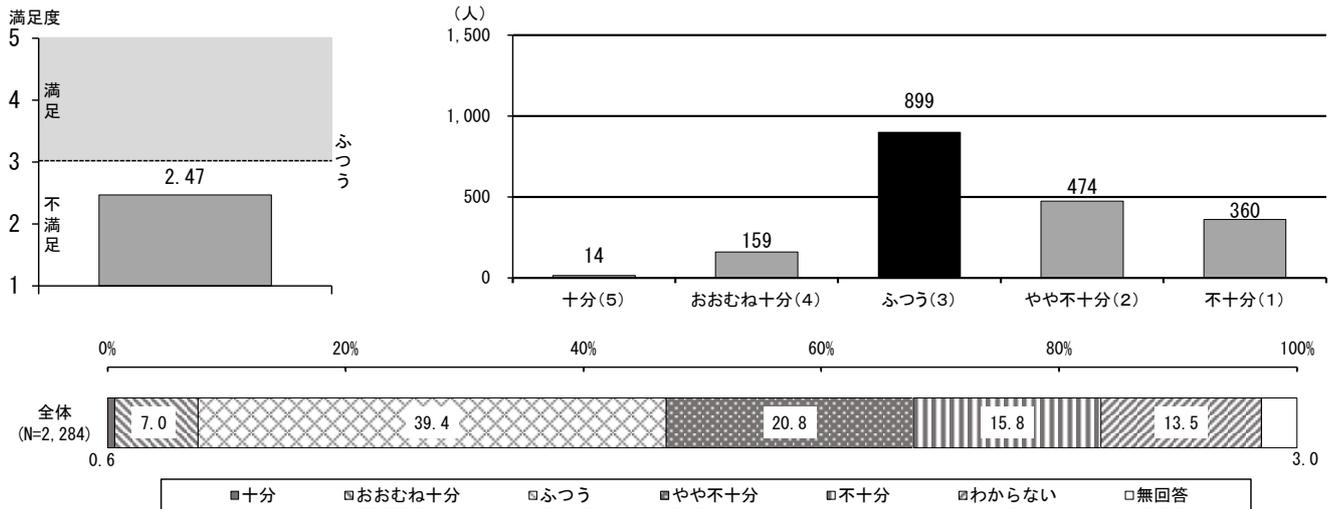
ウ 歴史と風土に培われた地域産業の活性化

問 1-1-3 地域経済・社会を支える地域産業の活性化が図られている。

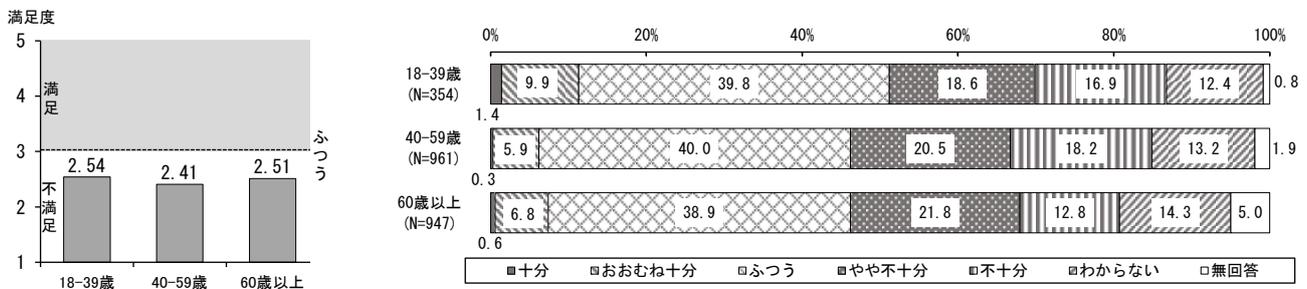
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.47で、「ふつう」の3より0.53低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は7.6%、「ふつう」は39.4%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は36.6%であった。また、不満を感じていない人の割合は47.0%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は2.54で最も高く、不満を感じていない人の割合は51.1%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.41で最も低く、不満を感じていない人の割合は46.2%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した834人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、183人(21.9%)から回答があった。

回答の一部

- 秋田杉や曲げわっぱ等品質の良い物があるのに、国内外に上手く継続した広告ができていない印象を持つ。(女性/30歳代/秋田地域)
- 様々な物資のリサイクルが可能になるようにもっと力を入れてほしい。(女性/50歳代/仙北地域)
- 秋田県の地域の特産物や伝統工芸を生かしていない。継承できていない。(男性/40歳代/秋田地域)

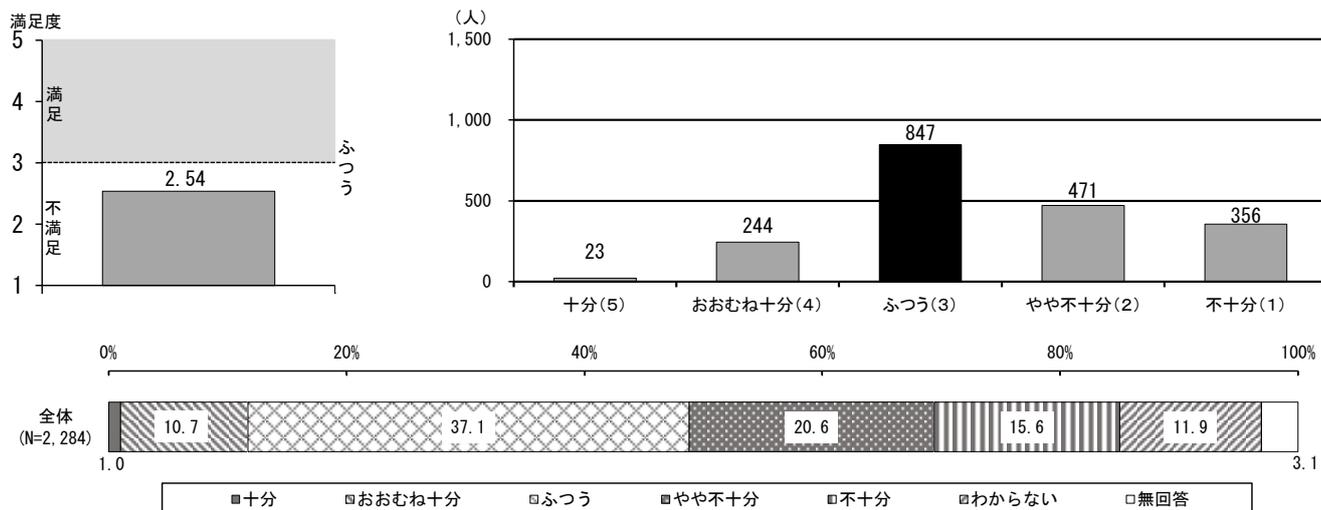
エ 産業振興を支える投資の拡大

問 1-1-4 立地環境が整備され、企業誘致が進んでいる。

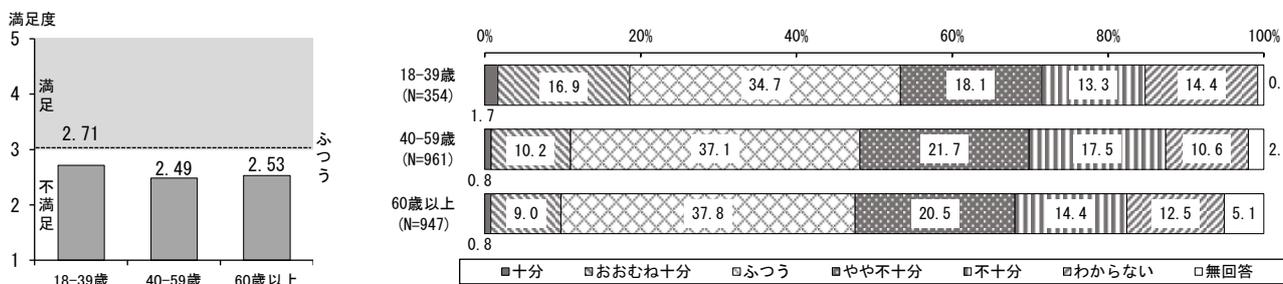
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.54で、「ふつう」の3より0.46低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は11.7%、「ふつう」は37.1%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は36.2%であった。また、不満を感じていない人の割合は48.8%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は2.71で最も高く、不満を感じていない人の割合は53.3%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.49で最も低く、不満を感じていない人の割合は48.1%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した827人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、219人(26.5%)から回答があった。

回答の一部

- 最近風力発電関係が良好だが、若者定住につながる企業誘致が不足している。(男性/70歳以上/雄勝地域)
- 大都市圏との移動にかかる時間は大きな変化がなく、立地環境が整備されているとは言えない。(男性/40歳代/秋田地域)
- 地域により偏っていると感じる。(女性/20歳代/秋田地域)

(2) 戦略2 農林水産戦略について

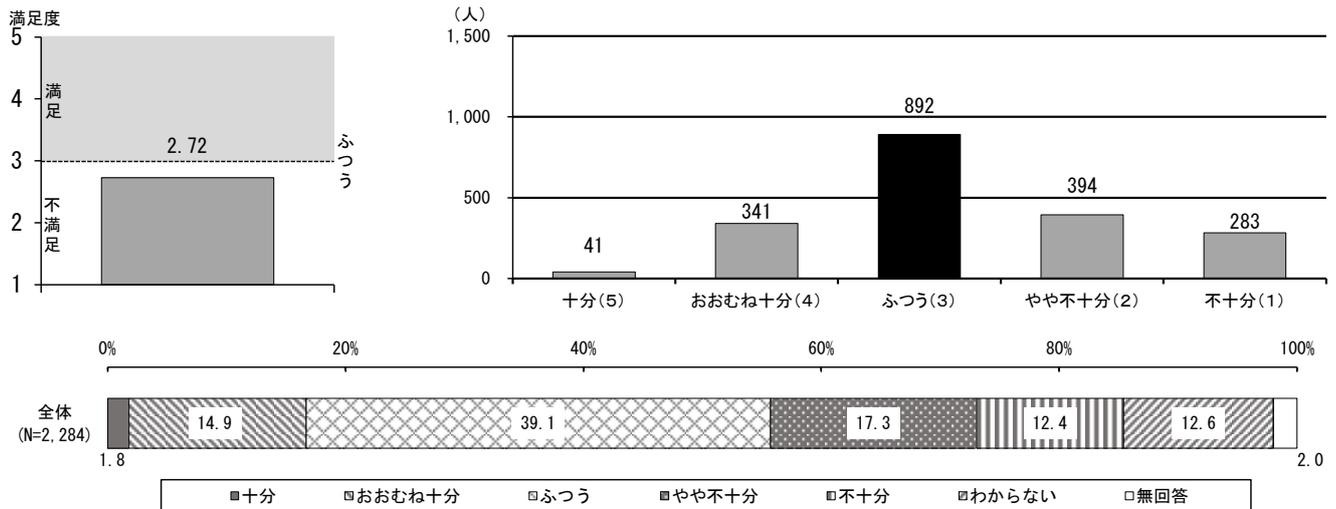
ア 農業の食料供給力の強化

問 1-1-5 経営力の高い担い手等が活躍し、我が国の食料供給に貢献している。

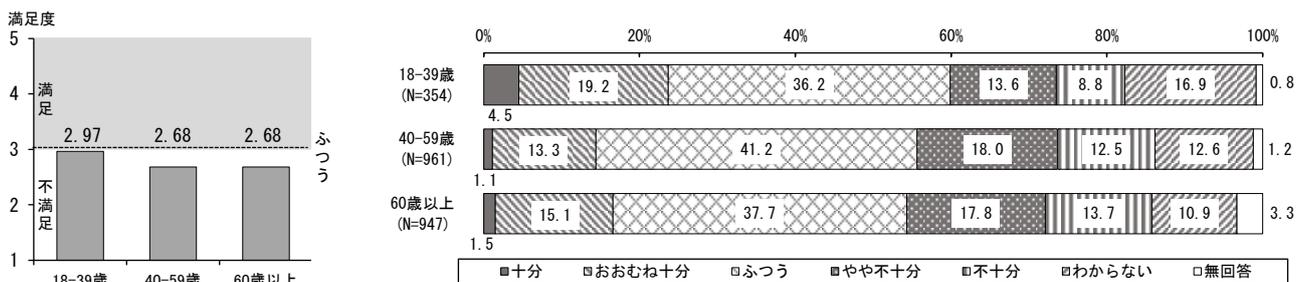
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.72で、「ふつう」の3より0.28低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は16.7%、「ふつう」は39.1%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は29.7%であった。また、不満を感じていない人の割合は55.8%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は2.97で最も高く、不満を感じていない人の割合は59.9%であった。一方、「40～59歳」と「60歳以上」の満足度はともに2.68で、不満を感じていない人の割合はそれぞれ55.6%、54.3%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した677人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、205人(30.3%)から回答があった。

回答の一部

- ほ場整備・農業法人化はいいと思うが、若者がもっと働きやすい環境が必要。(男性/40歳代/秋田地域)
- 高齢化などにより農業、畜産の担い手の減り方が大きいのにに対し、農業法人数や新規の就農者は微増である。きめ細かく見ていくと同時に大規模な改革が急務ではないか。(女性/70歳以上/秋田地域)
- 農業経営の法人団体はいくつか見られるが、若い担い手の確保は難しく、いつまで継続できるのか。地域を越えて経営してほしい。(女性/50歳代/由利地域)

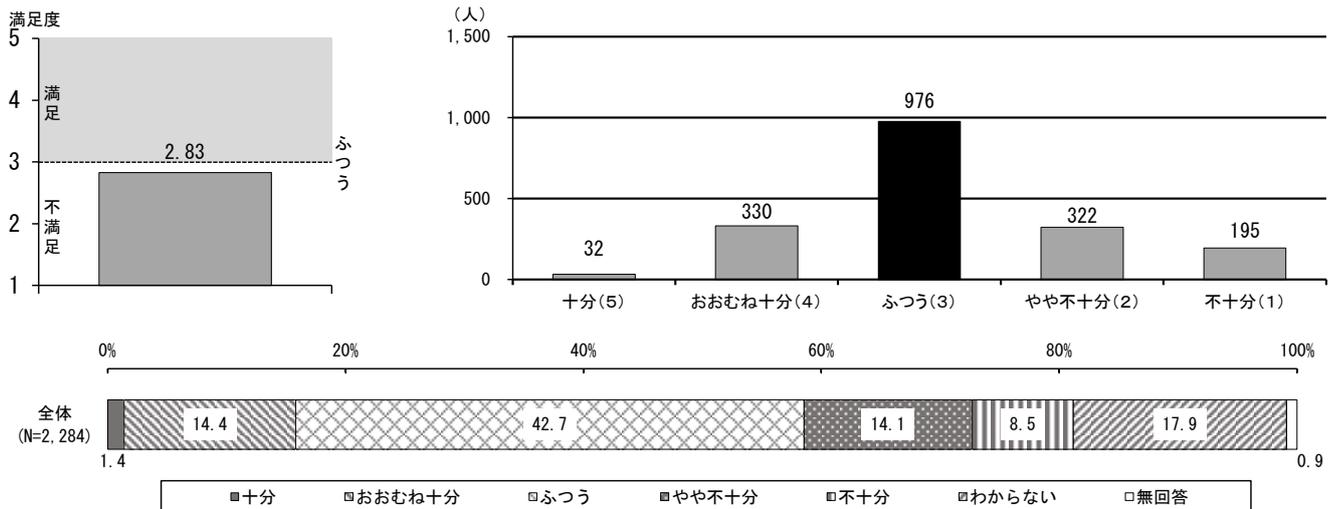
イ 林業・木材産業の成長産業化

問 1-1-6 「伐って・使って・植える」という森林資源の循環利用が進み、林業・木材産業が発展している。

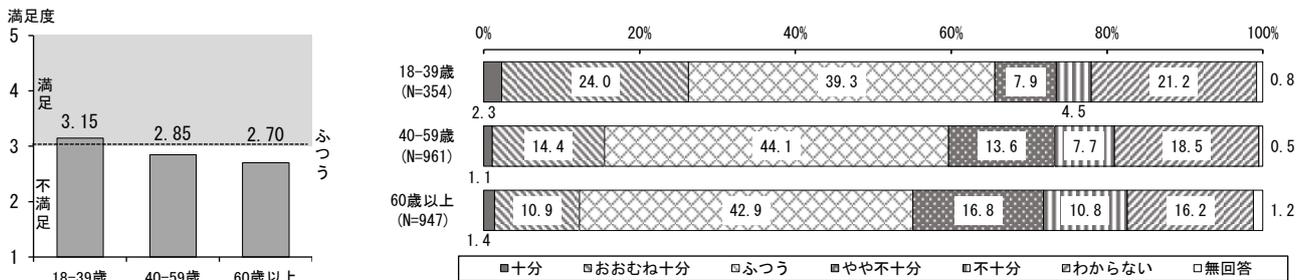
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.83で、「ふつう」の3より0.17低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は15.8%、「ふつう」は42.7%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は22.6%であった。また、不満を感じていない人の割合は58.5%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は3.15で最も高く、不満を感じていない人の割合は65.6%であった。一方、「60歳以上」の満足度は2.70で最も低く、不満を感じていない人の割合は55.2%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した517人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、136人(26.3%)から回答があった。

回答の一部

- 伐材だけがどんどん進んで治水が心配である。(男性/30歳代/北秋田地域)
- 放置され、手つかずの山林がいかにも多いか、という現実を直視した施策が急務だと思う。(男性/60歳代/仙北地域)
- 豊富にある秋田杉の商品開発に力を入れてはどうか。例えばモダンなデザインの家具や住宅部材など。林業・木材産業の発展のためには、稼げる森林資材であることが不可欠だと思う。花粉の少ない杉の開発も注目されているのでぜひ取り組んでほしい。(女性/60歳代/北秋田地域)

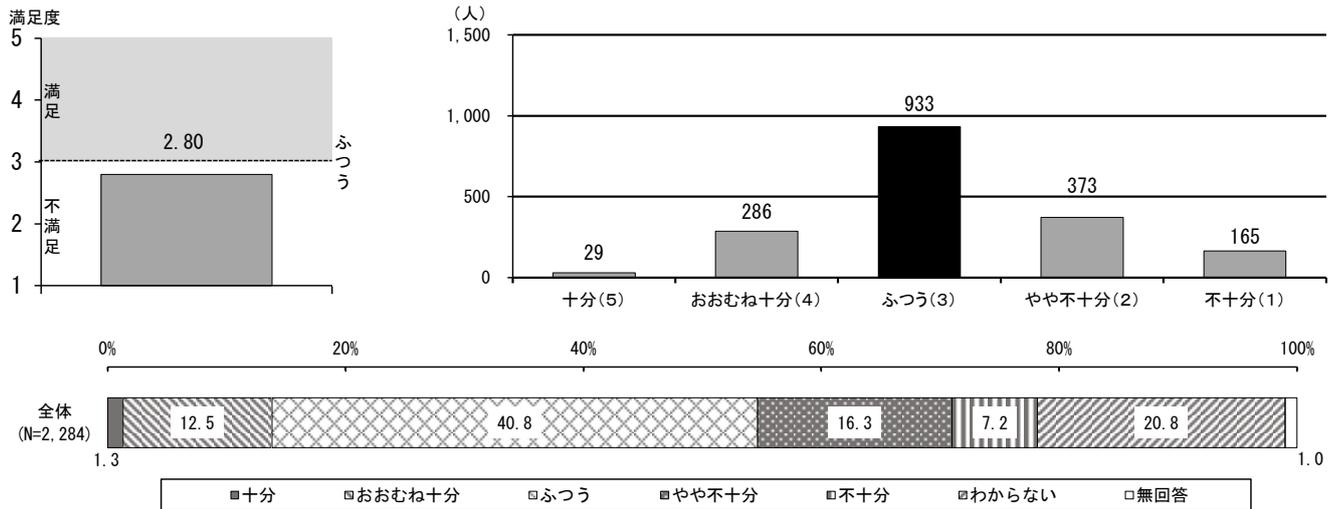
ウ 水産業の持続的な発展

問 1-1-7 蓄養殖や水産物のオンライン販売など、水産業での新たな取組が進んでいる。

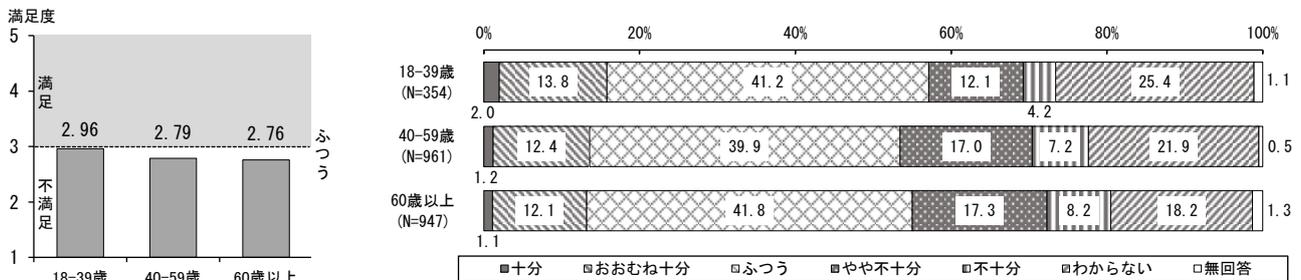
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.80で、「ふつう」の3より0.20低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は13.8%、「ふつう」は40.8%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は23.5%であった。また、不満を感じていない人の割合は54.6%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は2.96で最も高く、不満を感じていない人の割合は57.0%であった。一方、「60歳以上」の満足度は2.76で最も低く、不満を感じていない人の割合は55.0%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した538人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、108人(20.1%)から回答があった。

回答の一部

- お土産や加工品など、全国に売り出せる物を作ってほしい。水産物は豊富な県だと思うので、生かしてほしい。(男性/50歳代/仙北地域)
- ハタハタ以外の水産物のイメージがないので、もっとPRが必要と思う。(女性/40歳代/平鹿地域)
- 資源管理の情報収集、評価など、ICTを活用し積極的にスマート水産業を加速化させるべき。海外への展開もチャンスを逃さず発信してほしい。(女性/50歳代/秋田地域)

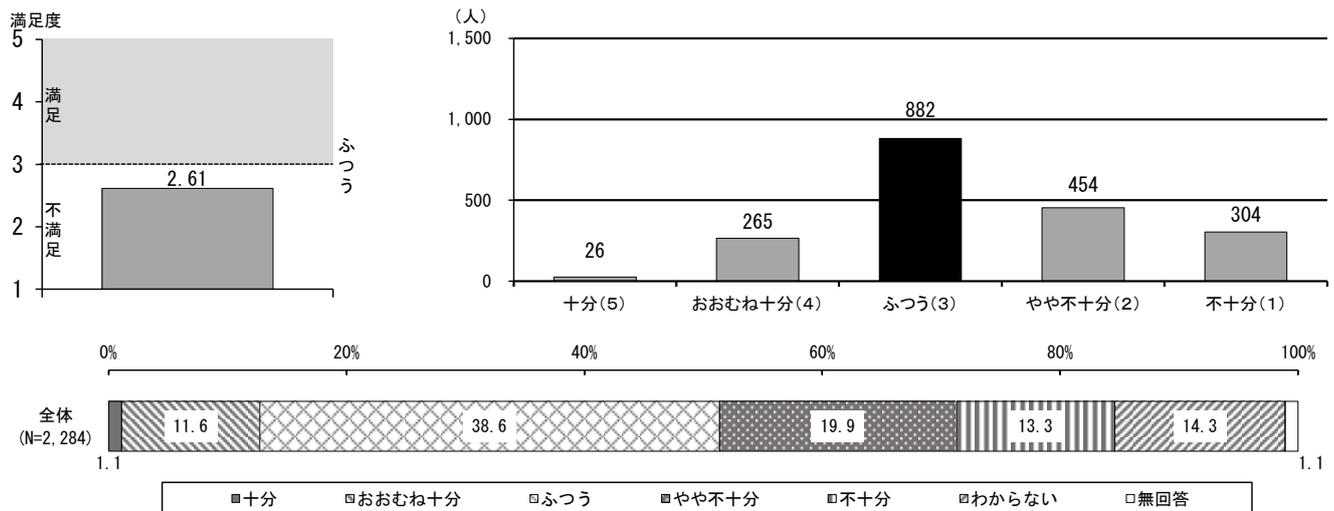
エ 農山漁村の活性化

問 1-1-8 農家民宿や農家レストランなど地域資源を生かした多様な農村ビジネスが増え、農山漁村が活性化している。

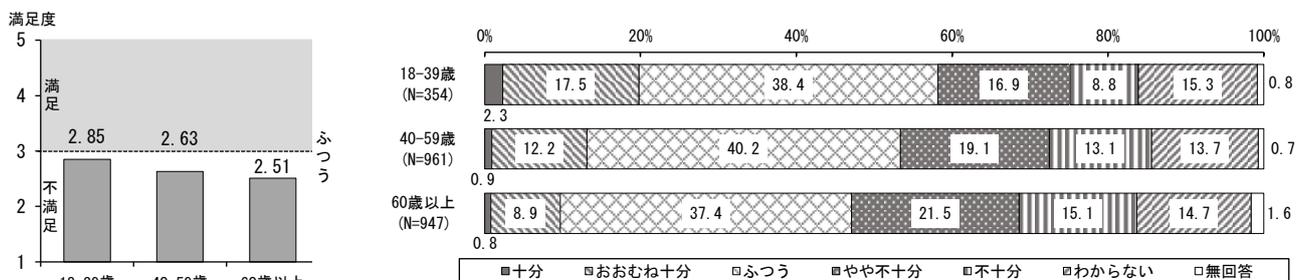
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.61で、「ふつう」の3より0.39低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は12.7%、「ふつう」は38.6%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は33.2%であった。また、不満を感じていない人の割合は51.3%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は2.85で最も高く、不満を感じていない人の割合は58.2%であった。一方、「60歳以上」の満足度は2.51で最も低く、不満を感じていない人の割合は47.1%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した758人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、187人(24.7%)から回答があった。

回答の一部

- 以前より増えた印象を持つが、長期展開していくために、県外への継続した広報が必要だと感じる。(女性/30歳代/秋田地域)
- コロナもあり、これからの復活の時期になると思う。また、これから参入しようとする人への支援や周知、地域の活性化につながる支援も大事だと思う。(男性/70歳以上/仙北地域)
- ビジネスとしては増えているかもしれないが、それによって農山漁村が活性化しているとは言えない。(男性/50歳代/仙北地域)

(3) 戦略3 観光・交流戦略について

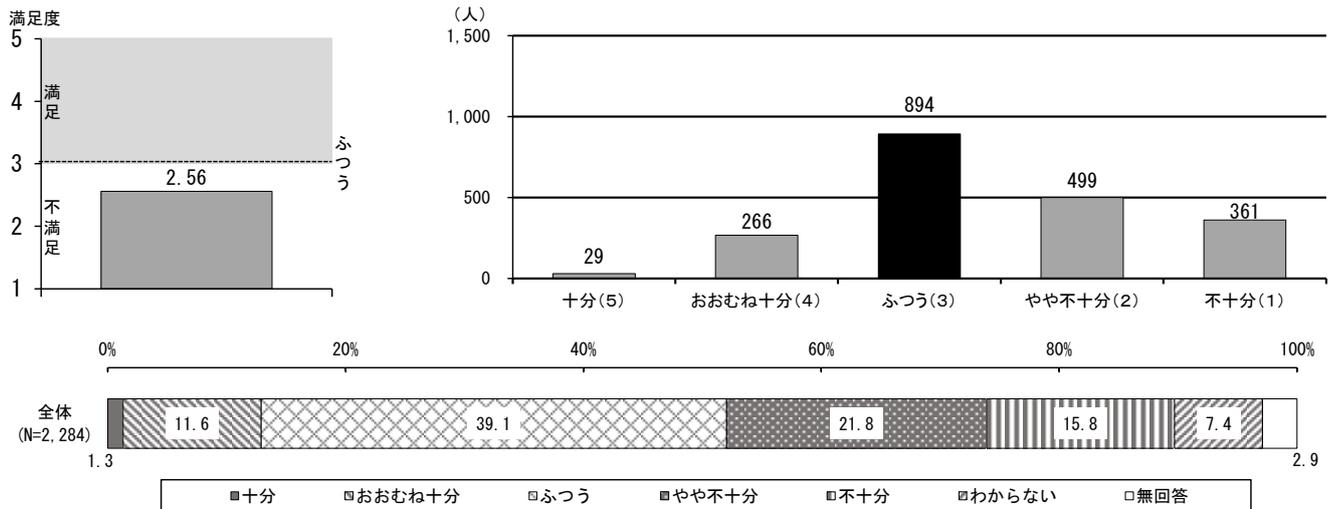
ア 「何度でも訪れたいくなるあきた」の創出

問 1-1-9 秋田の魅力が向上し、国内外から観光誘客が進んでいる。

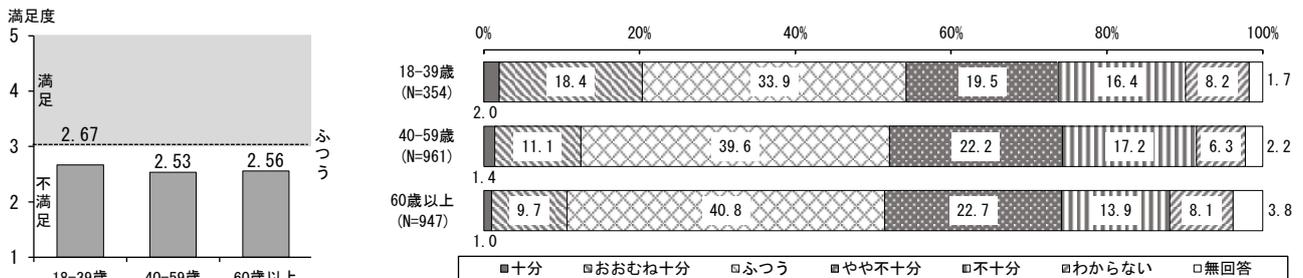
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.56で、「ふつう」の3より0.44低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は12.9%、「ふつう」は39.1%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は37.6%であった。また、不満を感じていない人の割合は52.0%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は2.67で最も高く、不満を感じていない人の割合は54.3%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.53で最も低く、不満を感じていない人の割合は52.1%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した860人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、245人(28.5%)から回答があった。

回答の一部

- 発信力が不十分。最近、有名な観光地ではなく、あまり知られていない神社や寺、食など、英語を始めとした外国向けの情報発信が必要。(男性/40歳代/秋田地域)
- 県内の多言語でのきめ細やかな案内、観光情報が不足しており、交通手段も不便である。(女性/50歳代/秋田地域)
- 数字だけでみれば入込客数は増えていますが、魅力の向上はできていないと思います。秋田の魅力はなんですか、と聞かれたときに答えることは毎回同じで、新たな魅力というものが生み出されていないように感じます。(女性/10歳代/由利地域)

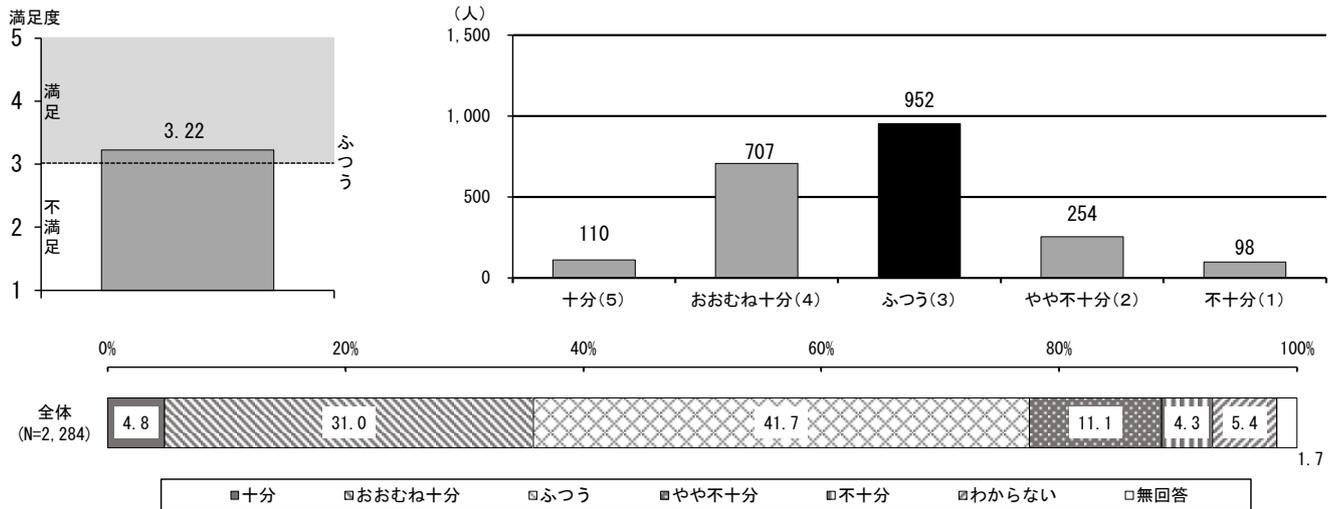
イ 「美酒・美食のあきた」の創造

問 1-1-10 食品産業が発展し、日本酒や発酵食品など、秋田の食品が盛んに流通している。

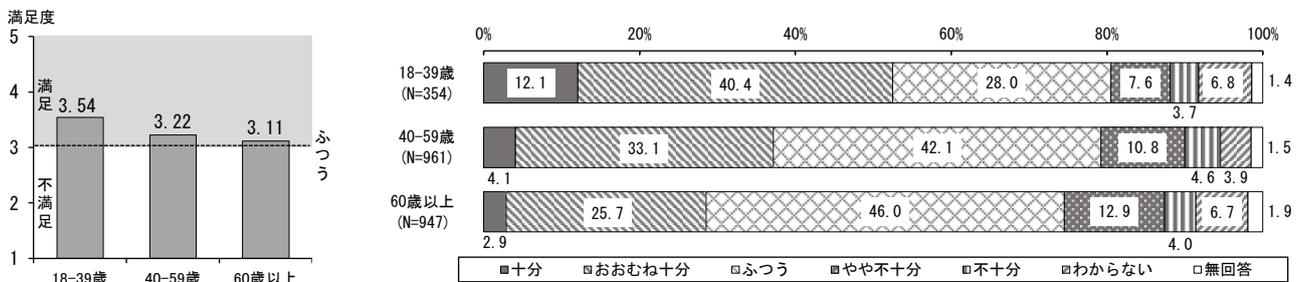
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は3.22で、「ふつう」の3より0.22高かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は35.8%、「ふつう」は41.7%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は15.4%であった。また、不満を感じていない人の割合は77.5%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は3.54で最も高く、不満を感じていない人の割合は80.5%であった。一方、「60歳以上」の満足度は3.11で最も低く、不満を感じていない人の割合は74.6%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した352人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、73人(20.7%)から回答があった。

回答の一部

- 秋田は発酵文化が日本有数の地なので、もっと力を入れるべき。(男性/70歳以上/雄勝地域)
- 米どころなので、もっと、日本酒の発展に力を入れてもよいと思う。そうすれば、米麴を使用した発酵食品も発展していくのでは。情報発信をもっと頑張してほしい。(女性/40歳代/仙北地域)
- 県外で産直市などを開催する「だけ」ではなく、広く周知して多くの人の目に留まるような取組が必要。イベントありきではなく、継続して購入してもらえるような取組が必要。(女性/30歳代/秋田地域)

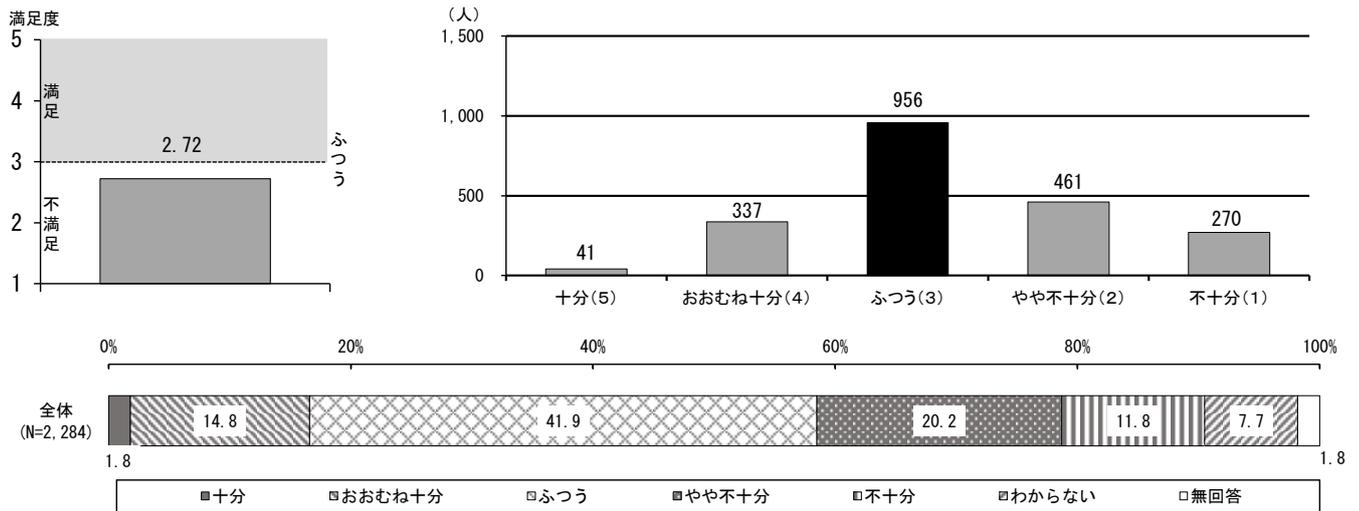
ウ 文化芸術の力による魅力ある地域の創生

問 1-1-11 国内外に秋田ならではの文化の魅力が伝えられている。

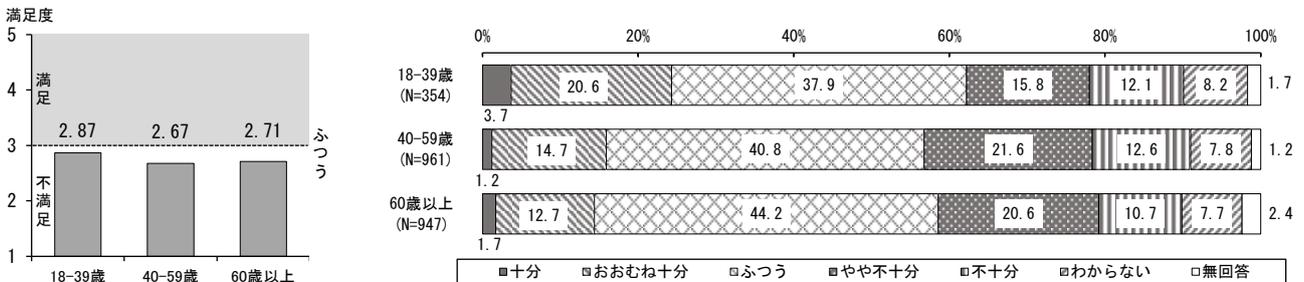
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.72で、「ふつう」の3より0.28低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は16.6%、「ふつう」は41.9%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は32.0%であった。また、不満を感じていない人の割合は58.5%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は2.87で最も高く、不満を感じていない人の割合は62.2%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.67で最も低く、不満を感じていない人の割合は56.7%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した731人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、155人(21.2%)から回答があった。

回答の一部

- まつり、伝統行事、芸能、芸術など総合的に秋田の魅力を発信するのにもっと力を入れてほしい。(男性/70歳以上/雄勝地域)
- “何もない”という県民の意識改革。秋田出身や秋田好きだと発信している芸能人を見かけるようになった。そういった方たちの力をもっと借りてもよいのではないか。(女性/30歳代/秋田地域)
- 様々な郷土芸能やお祭りなどまだまだ知られていないものがたくさんあるので、もっと秋田の文化を発信してほしい。(男性/60歳代/秋田地域)

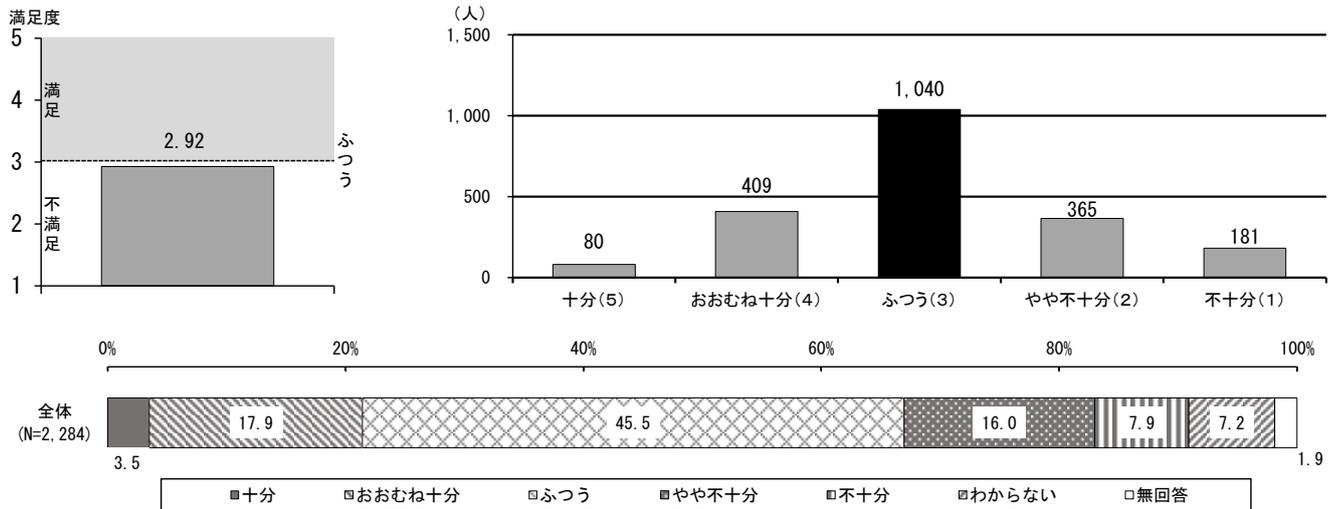
エ 活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現

問 1-1-12 スポーツを通じて地域に活力とにぎわいがもたらされている。

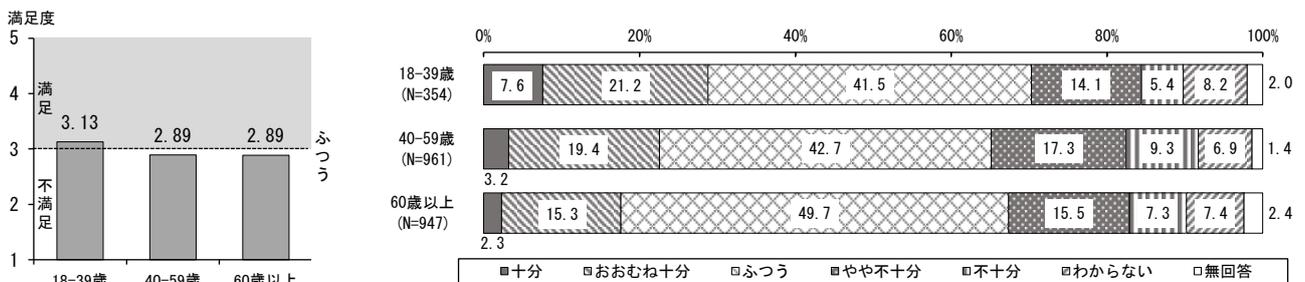
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.92で、「ふつう」の3より0.08低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は21.4%、「ふつう」は45.5%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は23.9%であった。また、不満を感じていない人の割合は66.9%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は3.13で最も高く、不満を感じていない人の割合は70.3%であった。一方、「40～59歳」と「60歳以上」の満足度はともに2.89で、不満を感じていない人の割合はそれぞれ65.3%、67.3%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した546人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、150人(27.5%)から回答があった。

回答の一部

- 子どもの頃からスポーツできる環境、スポ少の支援をすることで、スポーツに対する興味を持つことが、次へとつながる。(男性/50歳代/北秋田地域)
- 一般の人が自由に使うことができる体育館が少ない。(男性/30歳代/秋田地域)
- 地域によってスポーツ振興や普及に差がある。(女性/40歳代/平鹿地域)

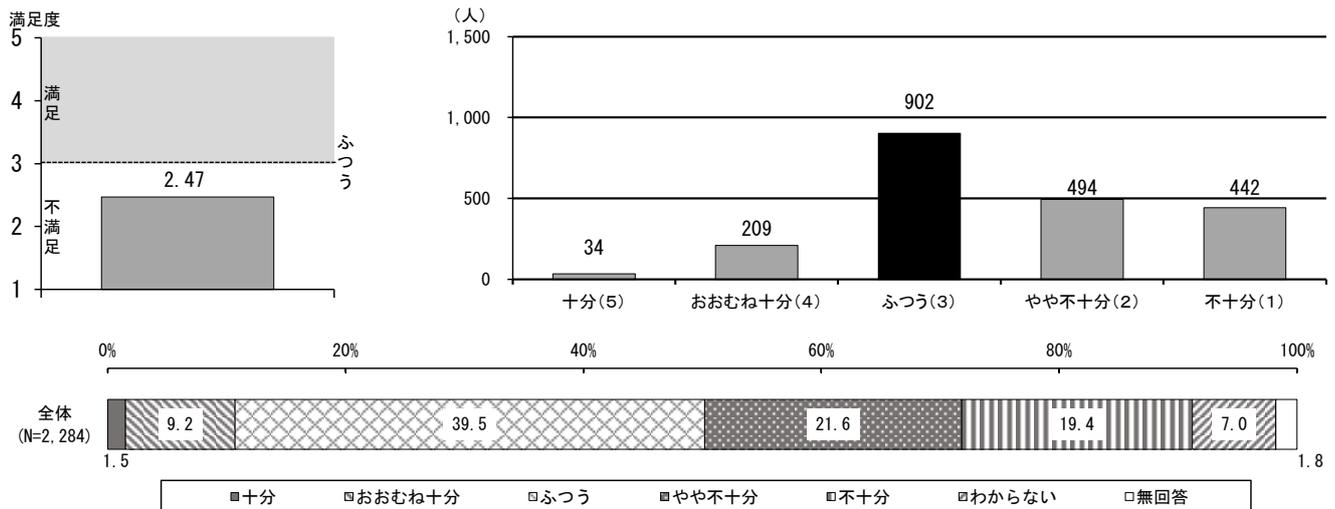
オ 国内外との交流と住民の暮らしを支える交通ネットワークの構築

問 1-1-13 国内外との交流を支える高速広域交通や、日々の暮らしを支える地域交通が整備されている。

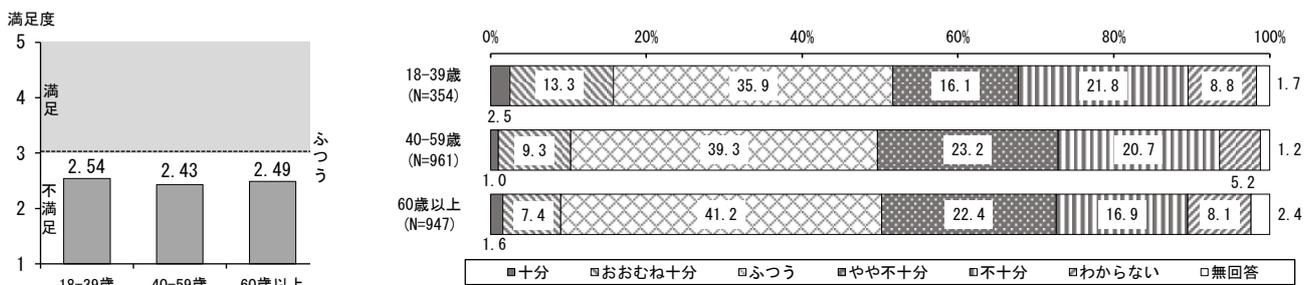
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.47で、「ふつう」の3より0.53低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は10.7%、「ふつう」は39.5%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は41.0%であった。また、不満を感じていない人の割合は50.2%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は2.54で最も高く、不満を感じていない人の割合は51.7%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.43で最も低く、不満を感じていない人の割合は49.6%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した936人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、287人(30.7%)から回答があった。

回答の一部

- 大都市とは違い、秋田みたいな地方都市では、車の有無で利便性や行動力に大きな差があると思います。電車やバスの本数を増やすなどの交通インフラを強化してほしいです。(男性/40歳代/秋田地域)
- 高速道路はあっても、片道1車線だと不便だと思う。県内陸部へのアクセスも悪いと思った。良い場所、物、人がたくさんあるのにもったいない。(女性/10歳代/鹿角地域)
- 高速道路の整備がされていない。バス、電車などの本数が少なすぎる。学生には住みにくい場所である。(女性/20歳代/由利地域)

(4) 戦略4 未来創造・地域社会戦略について

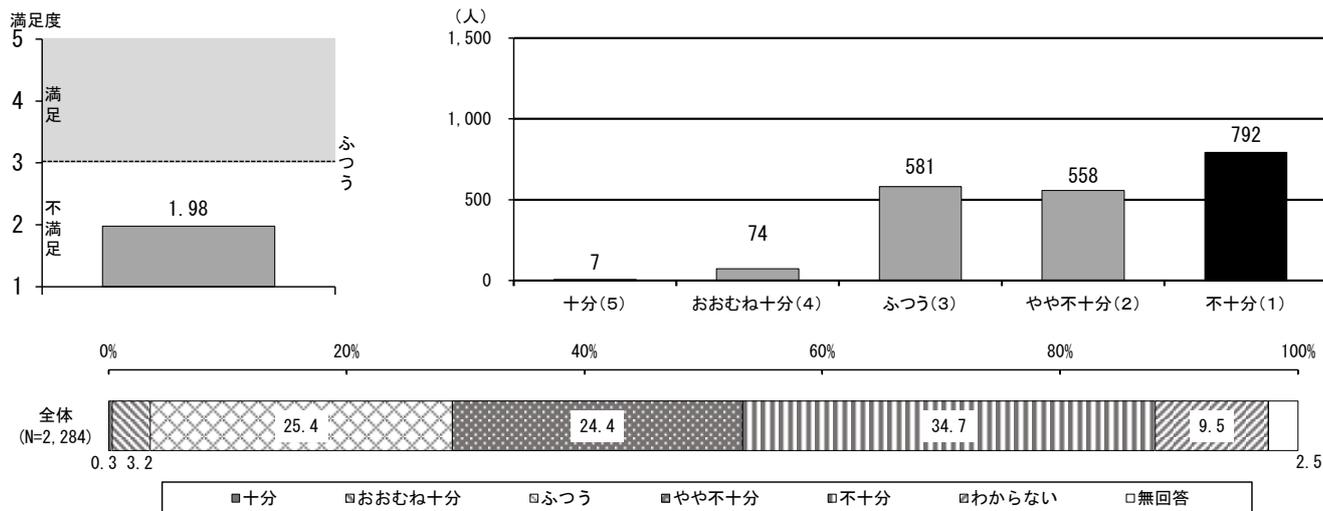
ア 新たな人の流れの創出

問 1-1-14 秋田への移住者が増加するほか、若者の県内定着・回帰が進んでいる。

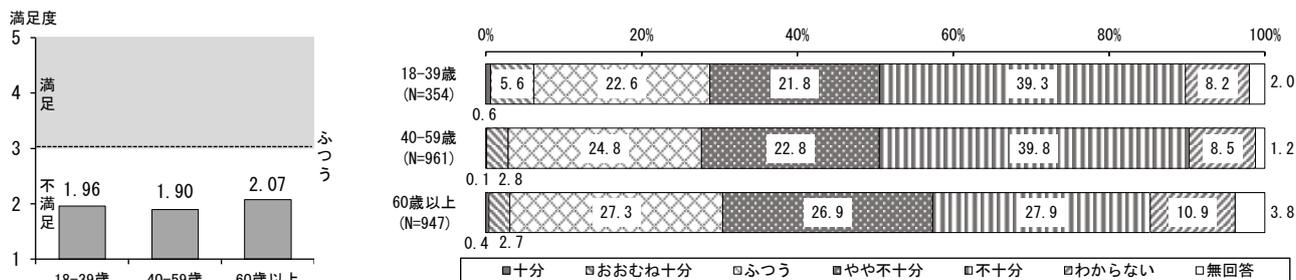
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は1.98で、「ふつう」の3より1.02低かった。回答は「不十分」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は3.5%、「ふつう」は25.4%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は59.1%であった。また、不満を感じていない人の割合は28.9%であった。



年代別では、「60歳以上」の満足度は2.07で最も高く、不満を感じていない人の割合は30.4%であった。一方、「40～59歳」の満足度は1.90で最も低く、不満を感じていない人の割合は27.7%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した1,350人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、400人(29.6%)から回答があった。

回答の一部

- 若者も「秋田には何もない」と言う。転勤者は「秋田はいい、ずっといたい」と言う。中年者の移住も力を入れたらよいのではないかと。(男性/60歳代/秋田地域)
- 高齢化が進み、若い人を育て応援する空気をあまり秋田から感じない。これは秋田でなければできない、という突出した魅力がないため、若者や移住者の増加が見込めないように感じる。(女性/30歳代/秋田地域)
- 秋田の魅力をもっと発信していくべきと思う。リモートでする仕事も増えつつあるので、自然をアピールするなどして、移住者を増やせる工夫もあると思う。(男性/70歳以上/仙北地域)

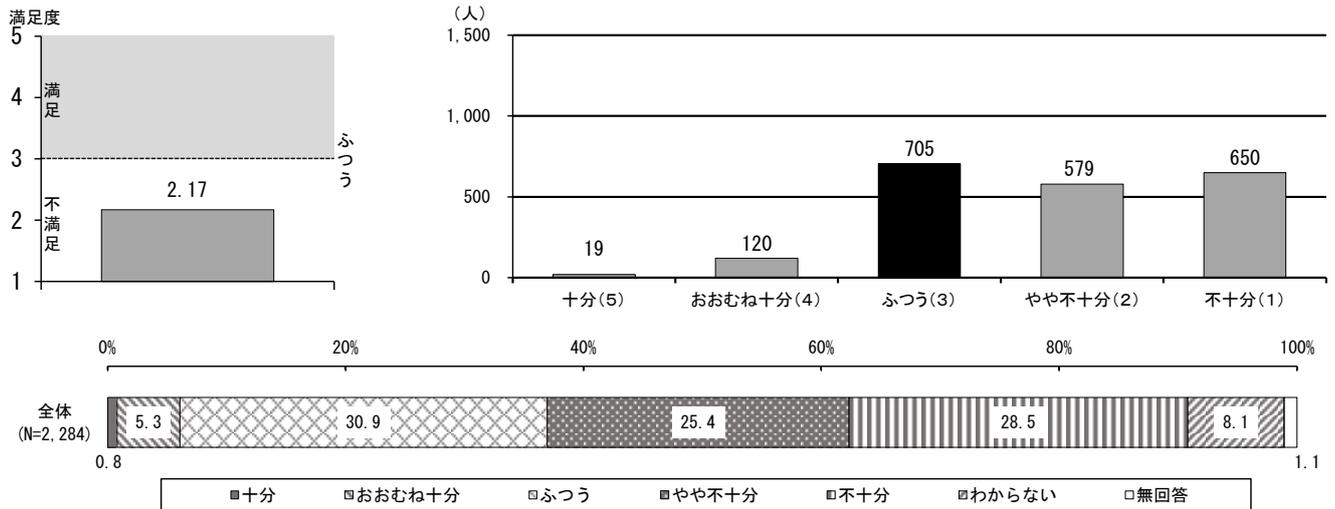
イ 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現

問 1-1-15 結婚し、安心して出産・子育てができる社会になっている。

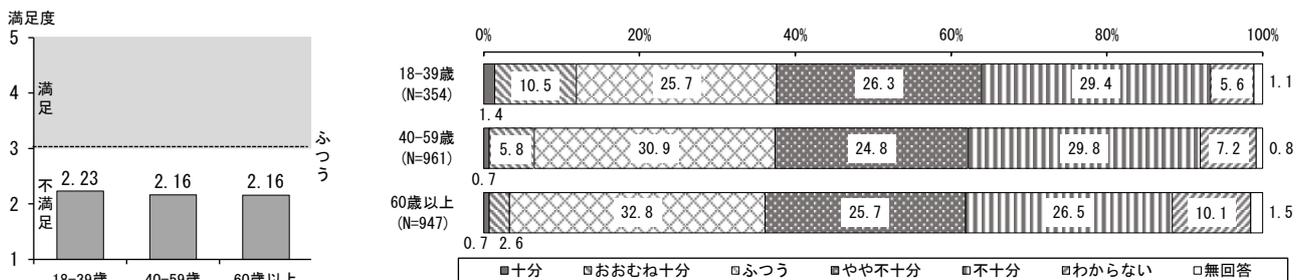
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.17で、「ふつう」の3より0.83低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は6.1%、「ふつう」は30.9%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は53.9%であった。また、不満を感じていない人の割合は37.0%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は2.23で最も高く、不満を感じていない人の割合は37.6%であった。一方、「40～59歳」と「60歳以上」の満足度はともに2.16で、不満を感じていない人の割合はそれぞれ37.4%、36.1%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した1,229人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、352人(28.6%)から回答があった。

回答の一部

- 子育て支援とともに保育士等の支援する側へも手厚い支援をするべきである。(男性/70歳以上/仙北地域)
- 人口減少に歯止めがかかっていない。経済がもっと活性化されないと、結婚、出産につながらないのでは。(女性/60歳代/秋田地域)
- 結婚支援センターをもっと気軽に利用できたらと思う。利用するにはかなり勇気が必要である。(女性/30歳代/秋田地域)

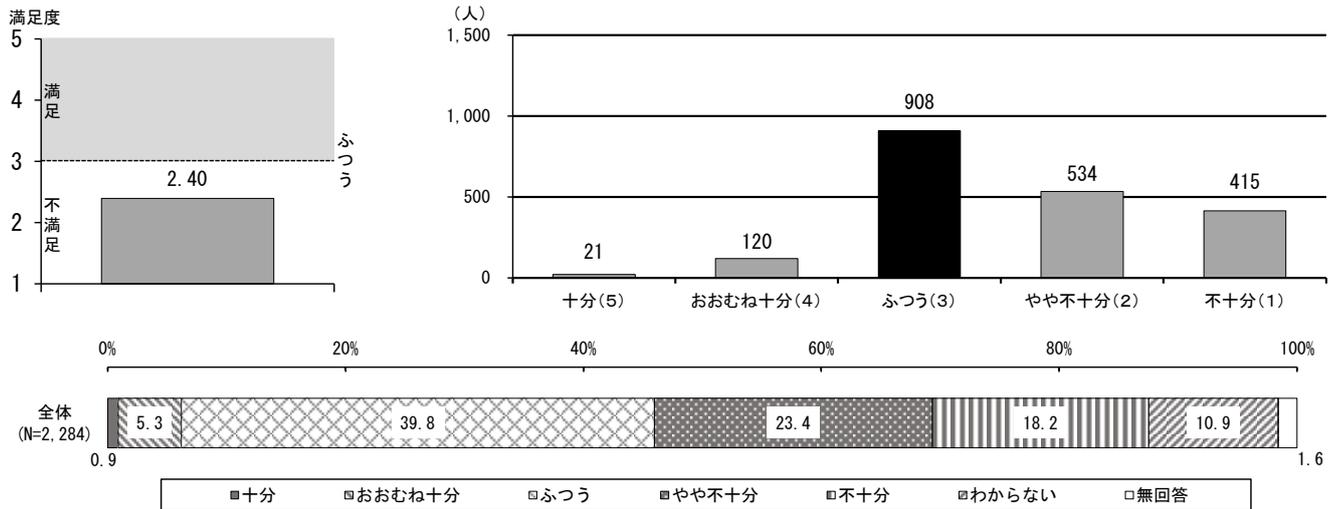
ウ 女性・若者が活躍できる社会の実現

問 1-1-16 女性や若者が様々な分野において、その能力や個性を發揮して活躍している。

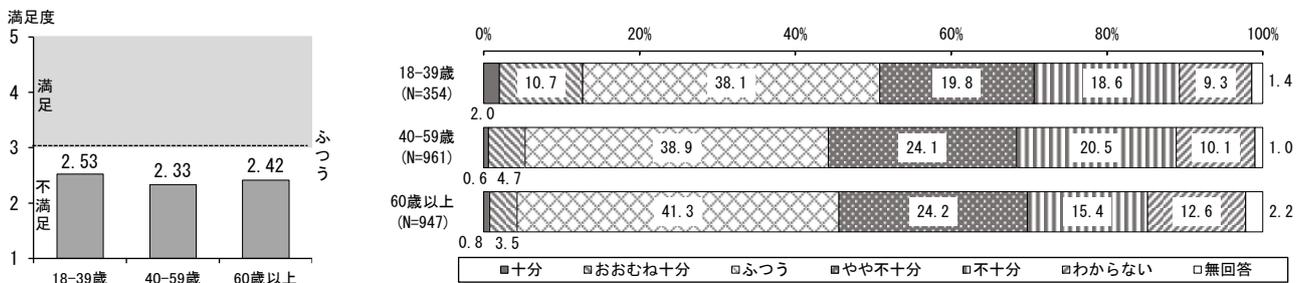
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.40で、「ふつう」の3より0.60低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は6.2%、「ふつう」は39.8%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は41.6%であった。また、不満を感じていない人の割合は46.0%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は2.53で最も高く、不満を感じていない人の割合は50.8%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.33で最も低く、不満を感じていない人の割合は44.2%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した949人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、167人(17.6%)から回答があった。

回答の一部

- 上層部の意見のみで、若者の意見が取り入れられていない気がする。(女性/20歳代/由利地域)
- 性別や年齢に関係なく、有能な人はもっと活躍する場があって良いと思う。(男性/50歳代/秋田地域)
- 能力と意欲のある女性は子育て期間等あっても重用すべきだが、女性活躍が前面に出過ぎて、女性であれば下駄を履かせているようなイメージもある。人よりもまず女性ありきになった場合、男性はもちろん重用された女性にとっても良い結果にはならないのではと思う。(男性/30歳代/山本地域)

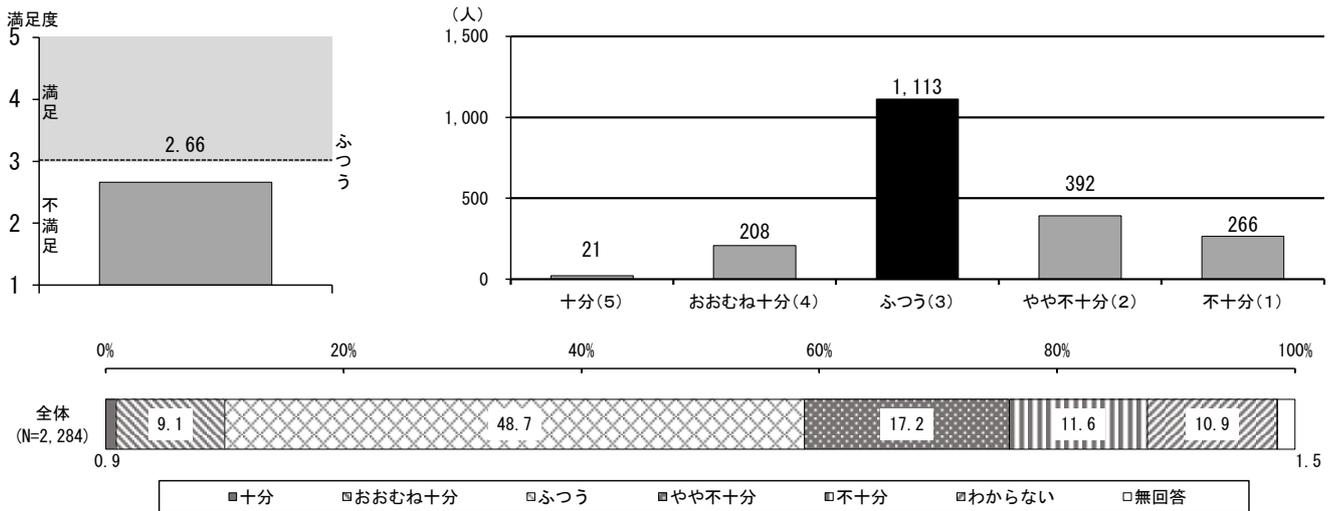
エ 変革する時代に対応した地域社会の構築

問 1-1-17 優しさと多様性に満ちた秋田において、協働等を通じて安心して生活できる地域社会となっている。

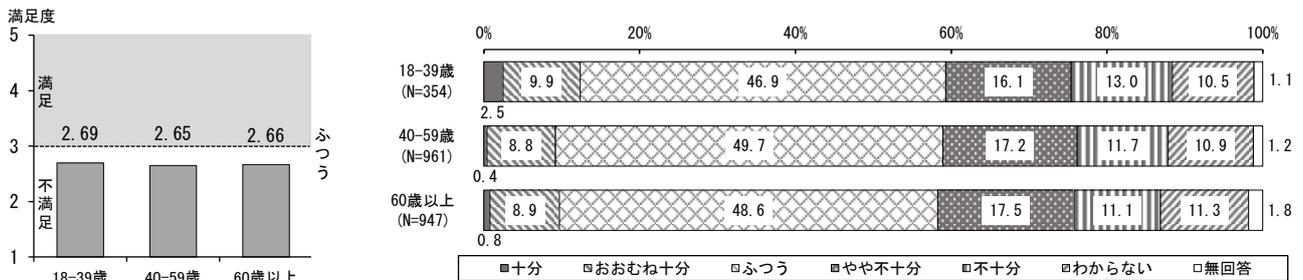
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.66で、「ふつう」の3より0.34低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は10.0%、「ふつう」は48.7%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は28.8%であった。また、不満を感じていない人の割合は58.7%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は2.69で最も高く、不満を感じていない人の割合は59.3%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.65で最も低く、不満を感じていない人の割合は58.9%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した658人に理由や県を求める取組を自由記述形式で質問したところ、110人(16.7%)から回答があった。

回答の一部

- 社会活動や地域活動への参加者が減少し、関心が薄れていると思う。(男性/60歳代/秋田地域)
- 個人的には昔よりも協働することが少なくなってきたと感じる。多様性は確かに増したと思うが、安心か、と聞かれるとそれは不安を感じる部分もある。(女性/40歳代/平鹿地域)
- 昔ながらの意識が根強いので、多様性の受容は進んでいないと思う。(女性/30歳代/平鹿地域)

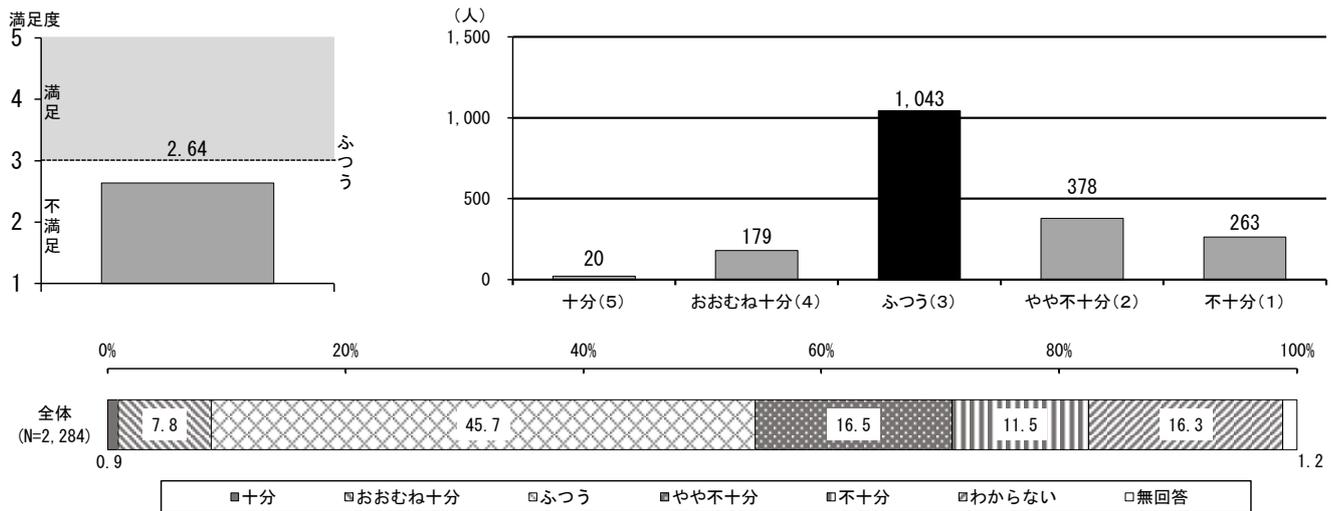
オ 脱炭素の実現を目指す地域社会の形成

問 1-1-18 地域住民、事業者、行政等と一緒にあって、地球温暖化対策に取り組んでいる。

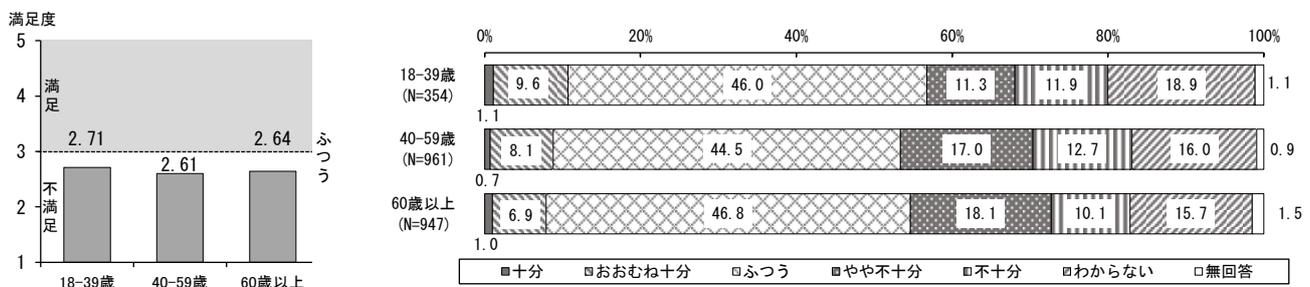
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.64で、「ふつう」の3より0.36低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は8.7%、「ふつう」は45.7%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は28.0%であった。また、不満を感じていない人の割合は54.4%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は2.71で最も高く、不満を感じていない人の割合は56.7%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.61で最も低く、不満を感じていない人の割合は53.3%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した641人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、91人(14.2%)から回答があった。

回答の一部

- 家庭から出るプラスチックを洗って出したり、使用済み天ぷら油を回収したりすると、もう少し環境に良いのではないのでしょうか。(女性/60歳代/雄勝地域)
- ゴミ問題などを通して、地球温暖化対策への意識を持ちやすい仕組みがあるとよい。他の地域で、リサイクルでポイントがたまる取組をしている所があり、地域の一体感が感じられた。(女性/40歳代/鹿角地域)
- 温暖化対策に乗り出している秋田の企業が分からないし見えない。県民も認識が薄いと思う。(男性/40歳代/仙北地域)

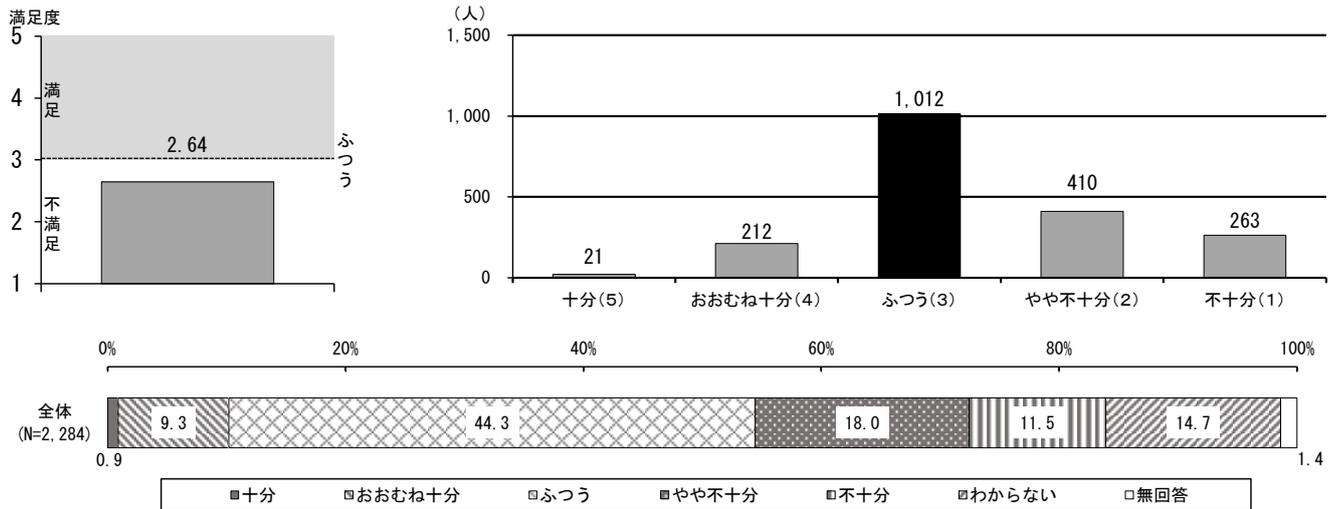
カ 行政サービスの向上

問 1-1-19 デジタル化の推進等により充実した行政サービスが提供されている。

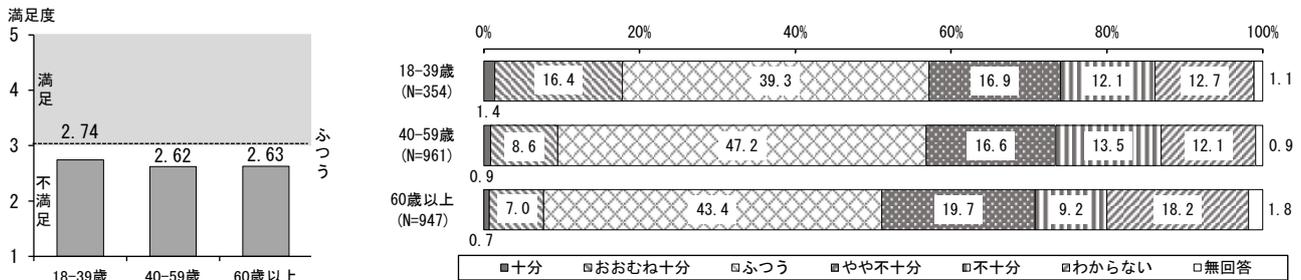
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.64で、「ふつう」の3より0.36低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は10.2%、「ふつう」は44.3%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は29.5%であった。また、不満を感じていない人の割合は54.5%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は2.74で最も高く、不満を感じていない人の割合は57.1%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.62で最も低く、不満を感じていない人の割合は56.7%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した673人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、159人(23.6%)から回答があった。

回答の一部

- 急速なデジタル化についていけない高齢者にスマホの操作方法を教えるなどのサービスを充実してほしい。(女性/70歳以上/秋田地域)
- デジタル化についていけない人に対するフォローアップも必要。(男性/50歳代/仙北地域)
- デジタル化は必要だが、あと10年はPC、スマホを持たない世代がいる。従来のサービスを並行して残していくことが必要。急激な変化は混乱を招く。(男性/40歳代/秋田地域)

(5) 戦略5 健康・医療・福祉戦略について

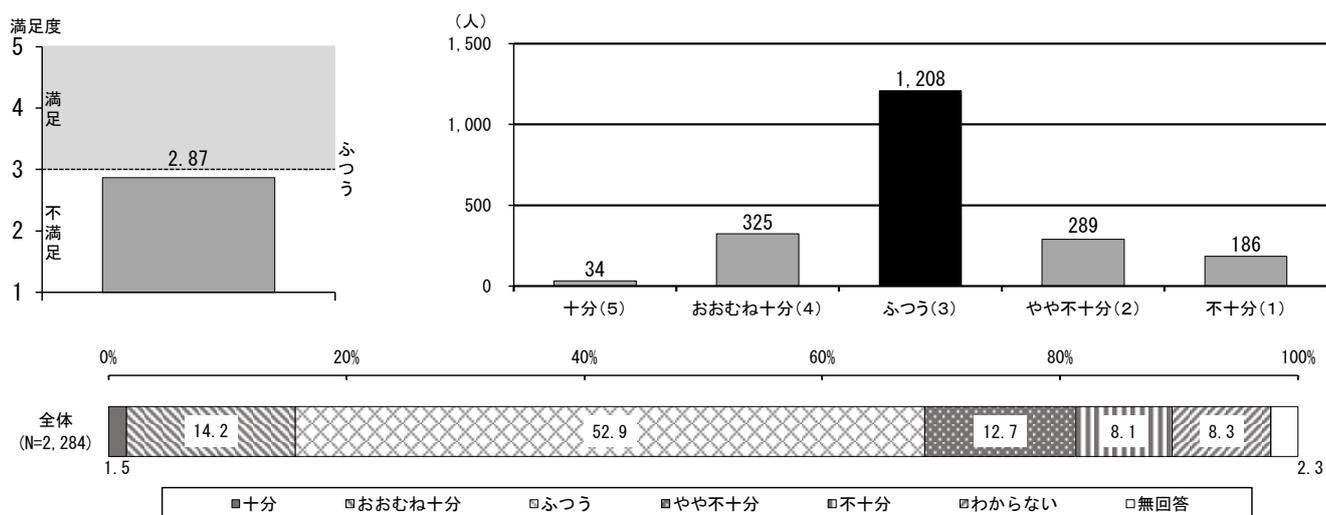
ア 健康寿命日本一の実現

問 1-1-20 県民の健康づくりに取り組む意識が高まり、生きがいをもって元気に生活している。

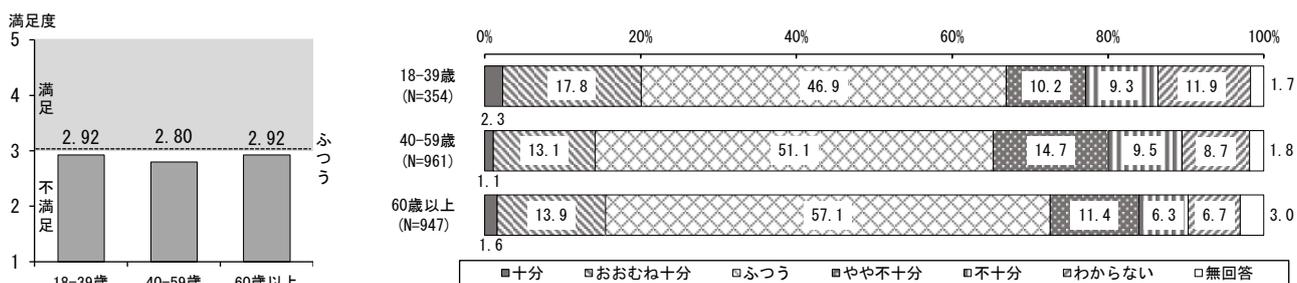
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.87で、「ふつう」の3より0.13低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は15.7%、「ふつう」は52.9%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は20.8%であった。また、不満を感じていない人の割合は68.6%であった。



年代別では、「18～39歳」と「60歳以上」の満足度がともに2.92で、不満を感じていない人の割合はそれぞれ67.0%、72.6%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.80で最も低く、不満を感じていない人の割合は65.3%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した475人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、82人(17.3%)から回答があった。

回答の一部

- 県民の健康づくりに取り組む意識が少ない。もっとイベントを増やすべき。(女性/30歳代/秋田地域)
- 健康寿命日本一目指して久しいと思いますが、コロナ禍もあってか、一般県民には伝わりにくかったように思います。(女性/70歳以上/由利地域)
- 文化的な原因であるが、味の濃いものなどの不健康な食事は変わってないと思う。(男性/10歳代/平鹿地域)

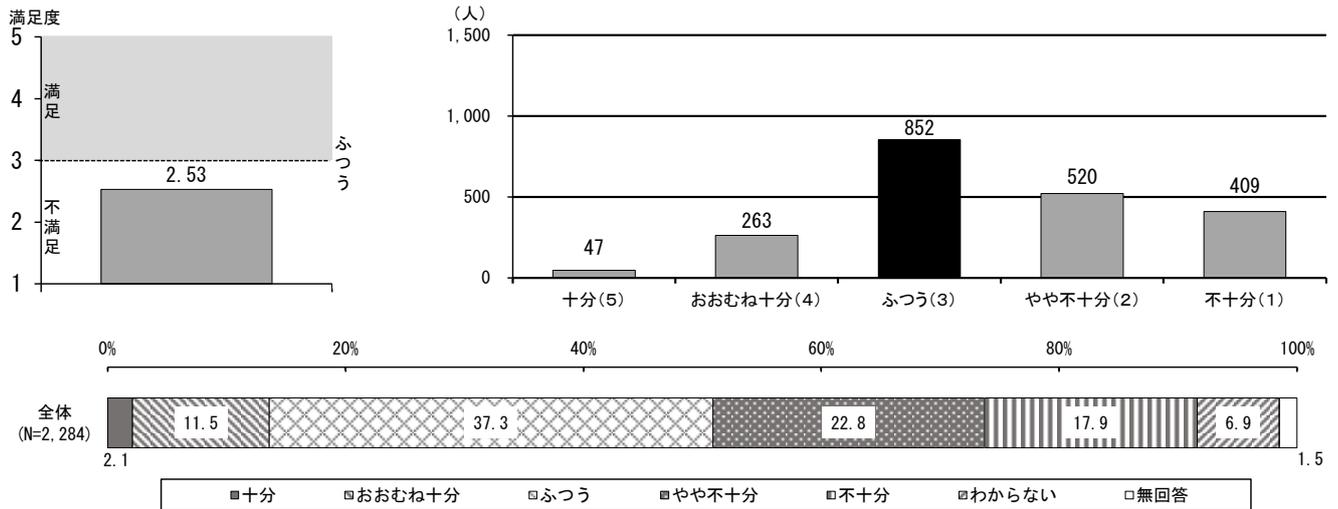
イ 安心で質の高い医療の提供

問 1-1-21 どこに住んでいても、必要な医療を受けられる体制が整っている。

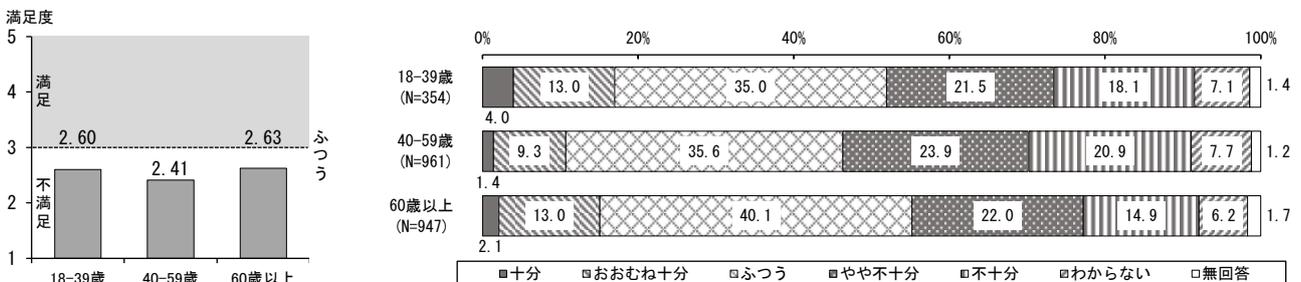
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.53で、「ふつう」の3より0.47低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は13.6%、「ふつう」は37.3%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は40.7%であった。また、不満を感じていない人の割合は50.9%であった。



年代別では、「60歳以上」の満足度は2.63で最も高く、不満を感じていない人の割合は55.2%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.41で最も低く、不満を感じていない人の割合は46.3%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した929人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、247人(26.6%)から回答があった。

回答の一部

- オンライン診療を進めることは良いと思うが、年を取るほど、デジタルは苦手になる。異常を感じたら、すぐ通報・受診できるシステム作りが大切だと思う。(女性/60歳代/仙北地域)
- 公共交通機関が少なすぎる。高齢者が増え、若い人が減っているのに車がないと病院へも行けない。しかし往診が増えているわけでもない。医師不足。(女性/30歳代/平鹿地域)
- 医療の地域格差がありすぎる。医療機関が少なすぎて選べない。特に高度な治療を必要とする場合、できる病院がないからそこにある病院で治療せざるを得ないという感じ。(女性/40歳代/仙北地域)

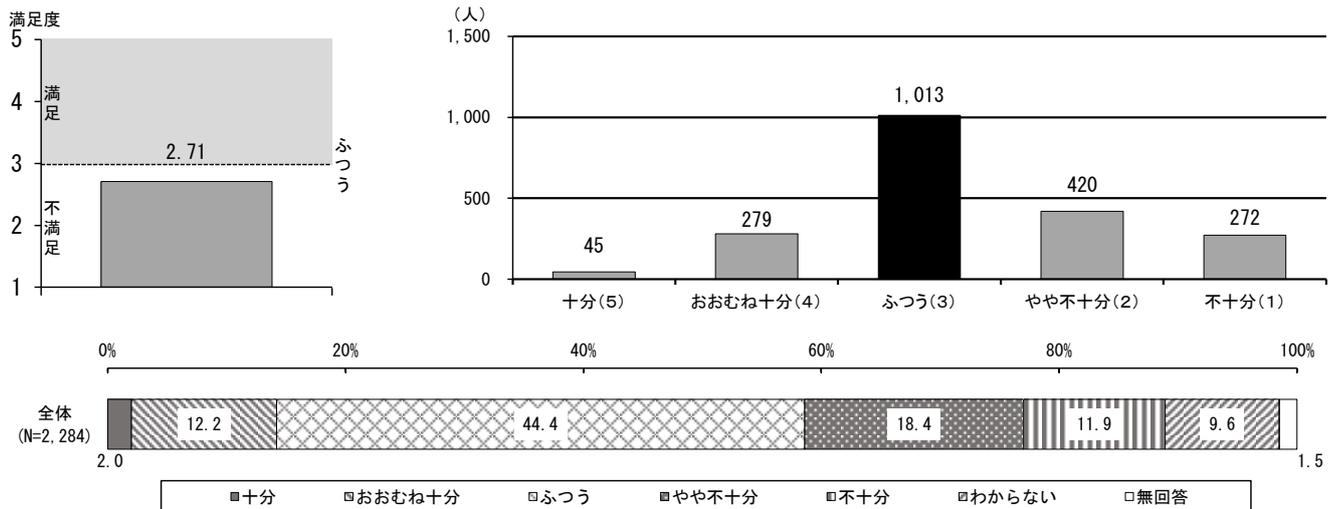
ウ 高齢者と障害者の暮らしを支える体制の強化

問 1-1-22 高齢者や障害のある方が、必要なサービスや支援を受けながら、住み慣れた地域で安心して生活している。

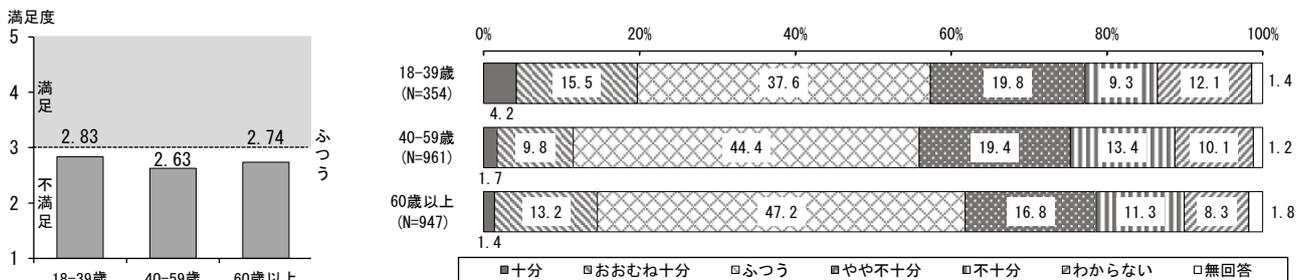
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.71で、「ふつう」の3より0.29低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は14.2%、「ふつう」は44.4%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は30.3%であった。また、不満を感じていない人の割合は58.6%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は2.83で最も高く、不満を感じていない人の割合は57.3%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.63で最も低く、不満を感じていない人の割合は55.9%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した692人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、160人(23.1%)から回答があった。

回答の一部

- 高齢者・障害のある方の家族のサポートをもっと考えてほしい。(女性/40歳代/山本地域)
- 事業所が人手不足で縮小している。同じ介護保険料を支払っても、住んでいる地域によってサービスに格差が生じている。(女性/40歳代/雄勝地域)
- 一人世帯の高齢者が、どこに相談して良いか分からず、サービスを受けられていないような感じがする。(女性/50歳代/北秋田地域)

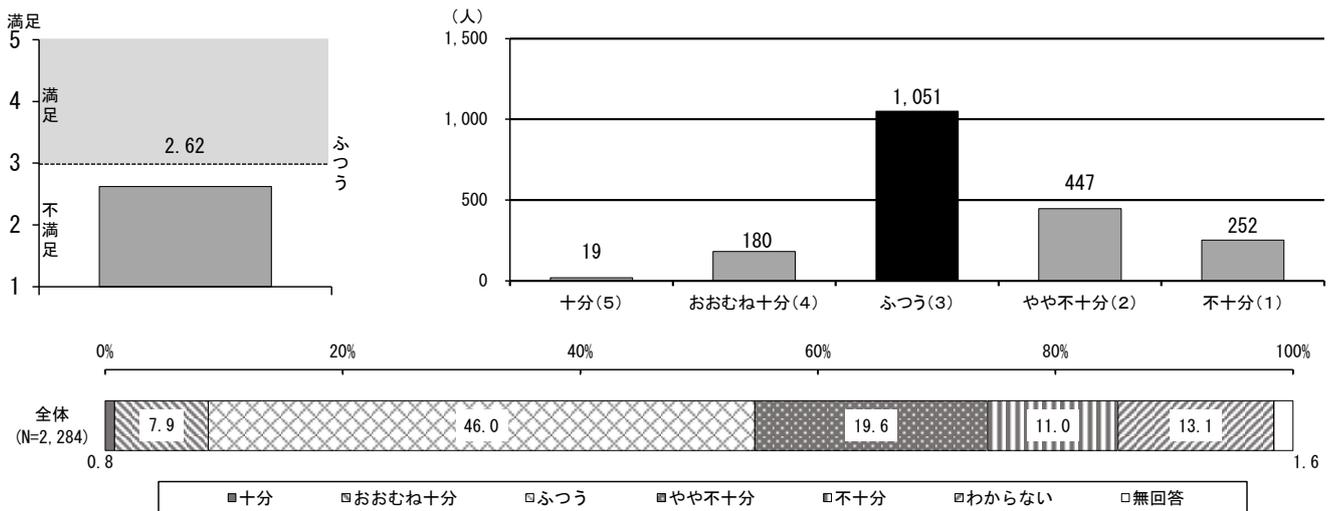
エ 誰もが安全・安心を実感できる地域共生社会の実現

問 1-1-23 相談体制や支援の充実により、地域や社会から孤立することなく、安心して生活できる社会となっている。

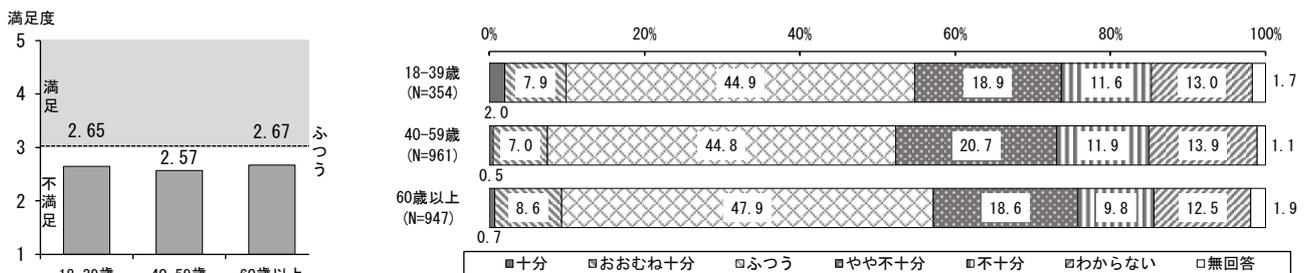
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.62で、「ふつう」の3より0.38低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は8.7%、「ふつう」は46.0%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は30.6%であった。また、不満を感じていない人の割合は54.7%であった。



年代別では、「60歳以上」の満足度は2.67で最も高く、不満を感じていない人の割合は57.2%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.57で最も低く、不満を感じていない人の割合は52.3%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した699人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、142人(20.3%)から回答があった。

回答の一部

- 個人情報を守られるか不安で相談できない。(男性/30歳代/雄勝地域)
- 相談・支援は行われていると思うが、孤立化はなかなか解消されていない。(男性/60歳代/鹿角地域)
- 相談対応員の適切な配置や教育体制の充実により資質を向上させ、官民連携した体制を構築してほしい。(女性/50歳代/秋田地域)

(6) 戦略6 教育・人づくり戦略について

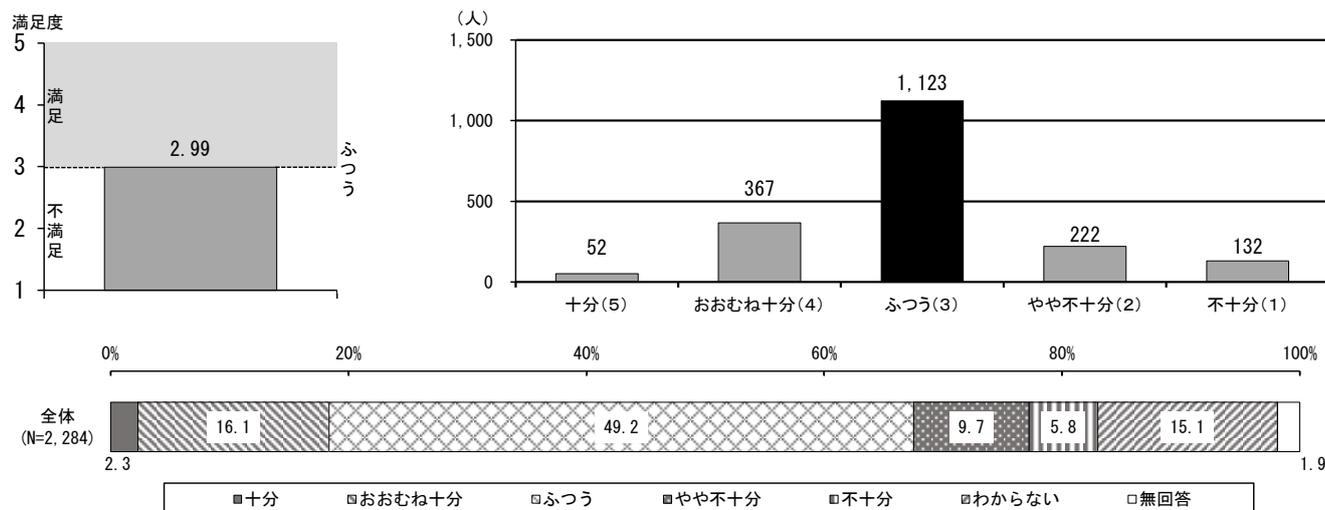
ア 秋田の将来を支える高い志にあふれる人材の育成

問 1-1-24 学校教育を通じて、ふるさとを愛し社会で活躍しようとする心が育まれている。

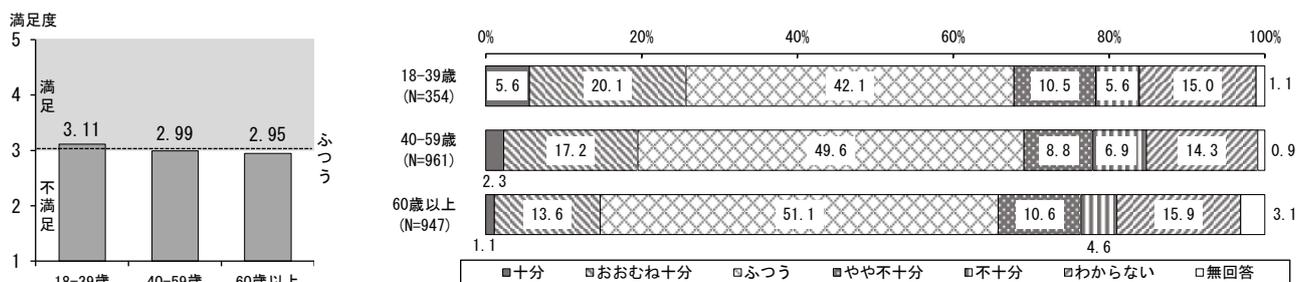
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.99で、「ふつう」の3より0.01低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は18.4%、「ふつう」は49.2%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は15.5%であった。また、不満を感じていない人の割合は67.6%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は3.11で最も高く、不満を感じていない人の割合は67.8%であった。一方、「60歳以上」の満足度は2.95で最も低く、不満を感じていない人の割合は65.8%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した354人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、66人(18.6%)から回答があった。

回答の一部

- 学校も必要ですが、地域で育てるような環境を作ってほしい。(男性/70歳以上/秋田地域)
- 小学校からふるさと教育を充実、拡充させ、秋田の良さをしっかり認識してほしいと思う。外部や県外の識者等から見た秋田の良さを直接伝えてもらう機会を作る。(女性/50歳代/平鹿地域)
- 郷土愛が育っても、「だから秋田に残る、秋田を大切にしたい」とつながっているとは思えない。(男性/50歳代/仙北地域)

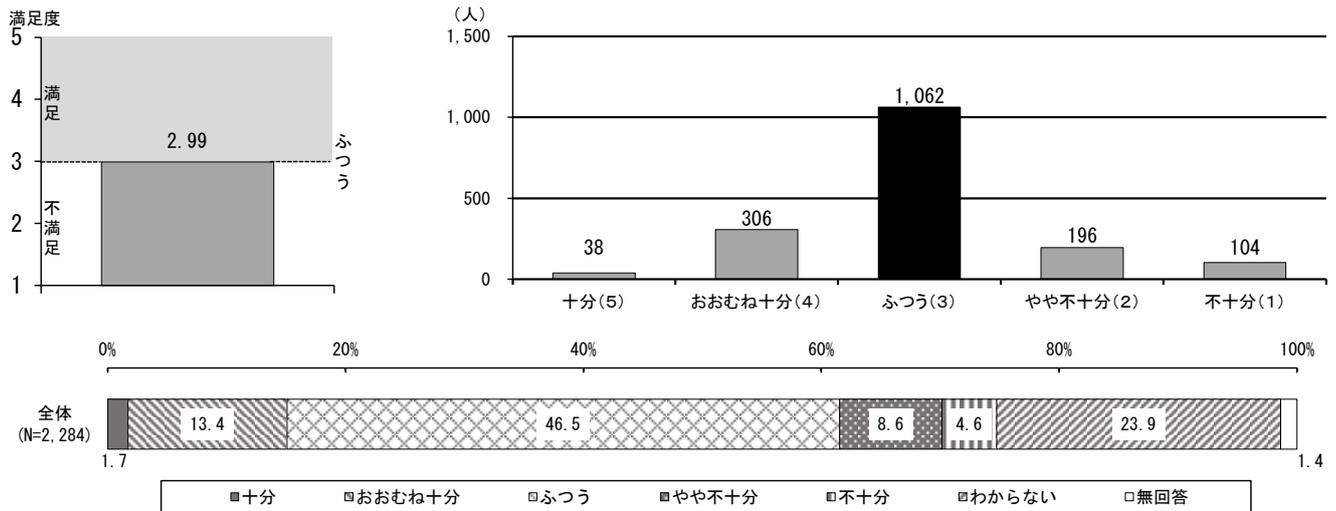
イ 確かな学力の育成

問 1-1-25 学校教育を通じて、ICTを効果的に活用しながら、自ら考え、判断し、表現する力が育まれている。

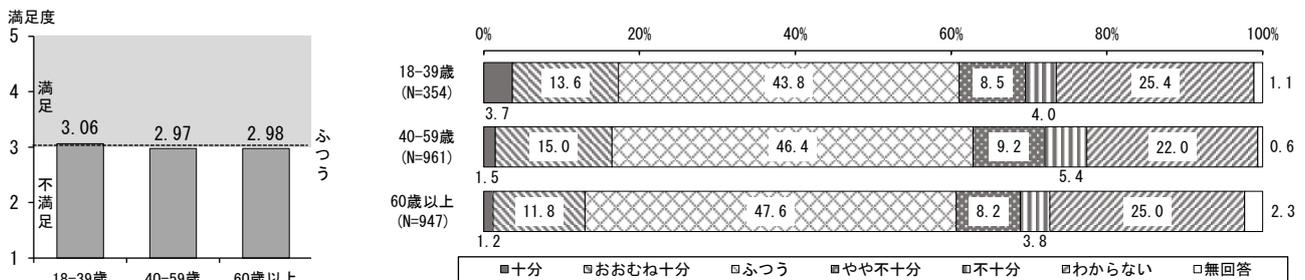
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.99で、「ふつう」の3より0.01低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は15.1%、「ふつう」は46.5%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は13.2%であった。また、不満を感じていない人の割合は61.6%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は3.06で最も高く、不満を感じていない人の割合は61.1%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.97で最も低く、不満を感じていない人の割合は62.9%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した300人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、57人(19.0%)から回答があった。

回答の一部

- 「ICTの活用」が目的になっており、無理に使っているように思う。ICT活用による視力低下、対面でのコミュニケーション不足へのフォローも併せて必要。(男性/30歳代/雄勝地域)
- ICTに関して、学校の先生に全て任せるのは大変だと思います。先生の負担が大きい。専門的な人に依頼するのはどうでしょうか。(女性/30歳代/秋田地域)
- ICTの活用で、意見を示すのが苦手な子どもも授業に参加しやすい活用法があるなど、思わぬメリットがいくつもあると聞きます。同時に、発達期の子どもに使用させると、論理的な思考能力が落ちるとの研究結果なども揃ってきているようなので、注意して運用してもらいたい。(男性/40歳代/秋田地域)

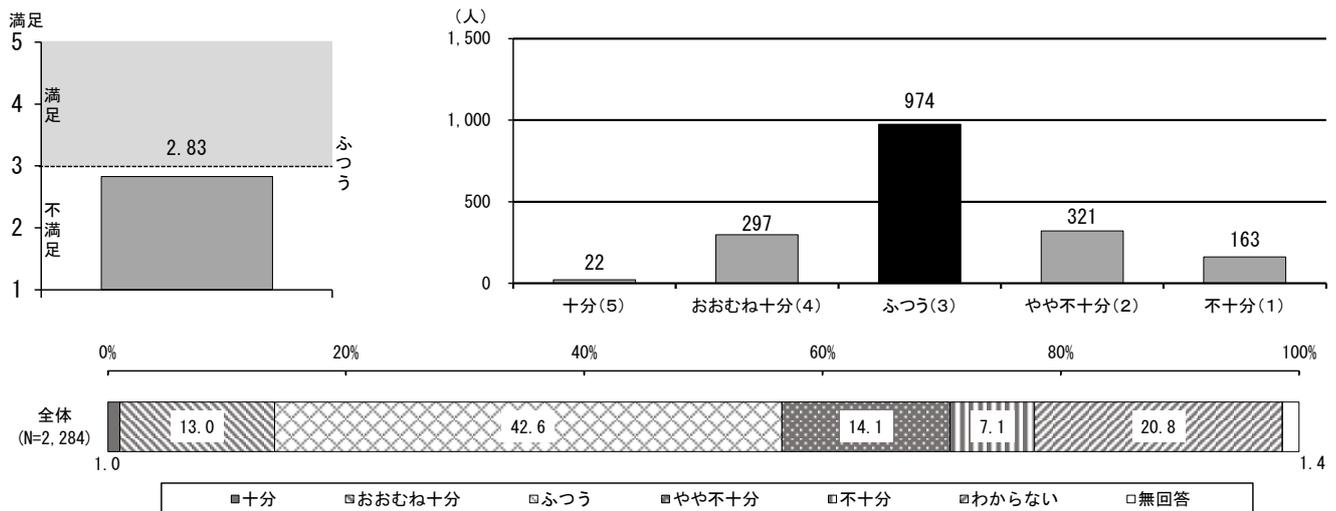
ウ グローバル社会で活躍できる人材の育成

問 1-1-26 学校教育を通じて、外国文化を理解しようとする態度や、英語でコミュニケーションができる能力が育まれている。

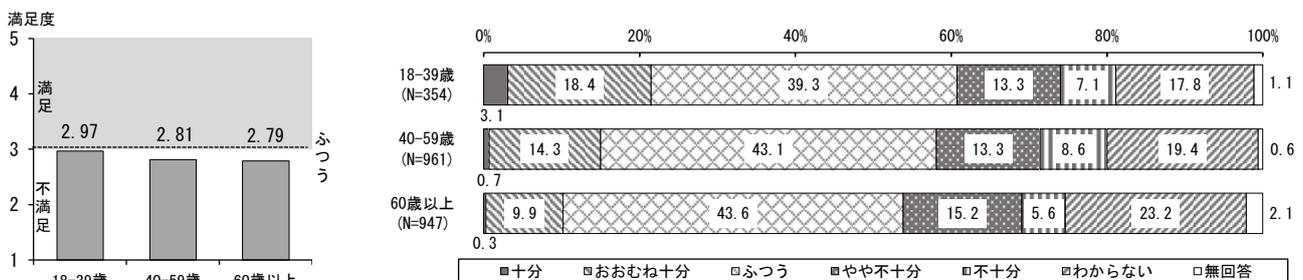
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.83で、「ふつう」の3より0.17低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は14.0%、「ふつう」は42.6%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は21.2%であった。また、不満を感じていない人の割合は56.6%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は2.97で最も高く、不満を感じていない人の割合は60.8%であった。一方、「60歳以上」の満足度は2.79で最も低く、不満を感じていない人の割合は53.8%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した484人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、91人(18.8%)から回答があった。

回答の一部

- 読み書きはある程度できていますが、話す、聞くなどの実技がまだまだだと思います。実践の機会を増やす必要があると思います。(男性/30歳代/平鹿地域)
- イングリッシュキャンプに7年前に参加しましたが、とても楽しかったです。英語に触れる機会があるのは良いと思います。まずは母音の発音から学びたかったです。(女性/20歳代/由利地域)
- 外国語指導助手の先生がもっと良いと思う。それこそインターナショナルスクールなど英語を学びたい人はそこに通えるようにする。授業がつまらないなどの理由で英語が嫌いな子もいる。(女性/30歳代/仙北地域)

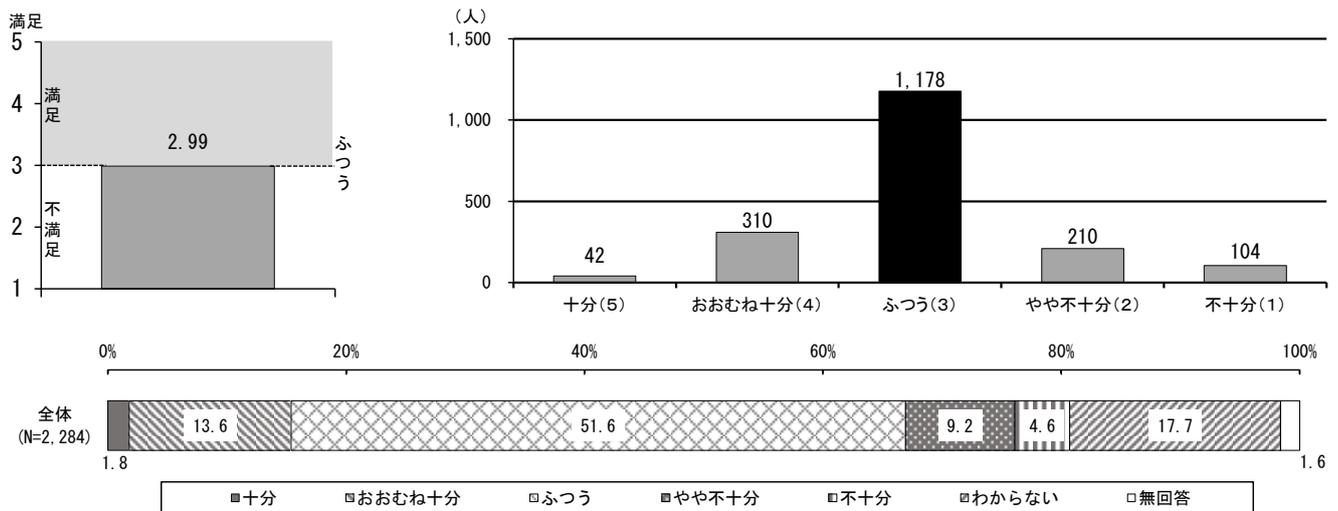
エ 豊かな心と健やかな体の育成

問 1-1-27 学校教育を通じて、他人への思いやりなどの豊かな心や健やかな体が育まれている。

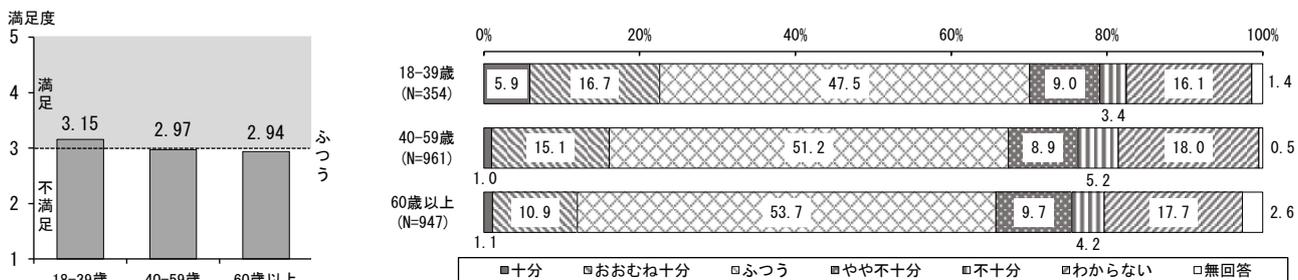
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.99で、「ふつう」の3より0.01低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は15.4%、「ふつう」は51.6%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は13.8%であった。また、不満を感じていない人の割合は67.0%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は3.15で最も高く、不満を感じていない人の割合は70.1%であった。一方、「60歳以上」の満足度は2.94で最も低く、不満を感じていない人の割合は65.7%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した314人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、66人(21.0%)から回答があった。

回答の一部

- 地域を巻き込んだ部活動の支援が必要と思われる。(男性/60歳代/秋田地域)
- スクールカウンセラーの存在はありがたいが、予約したくても数か月待ちがよくある。もう少し人数配置ができないものか。または、その他関係機関との連携の充実を図れないものか。(女性/30歳代/秋田地域)
- 先生方も日々忙しく、クラスの生徒とのコミュニケーションが取れていないと思います。言葉だけで他人への思いやりを伝えられても伝わらない。コミュニケーションをもっと取ってほしい。(男性/40歳代/平鹿地域)

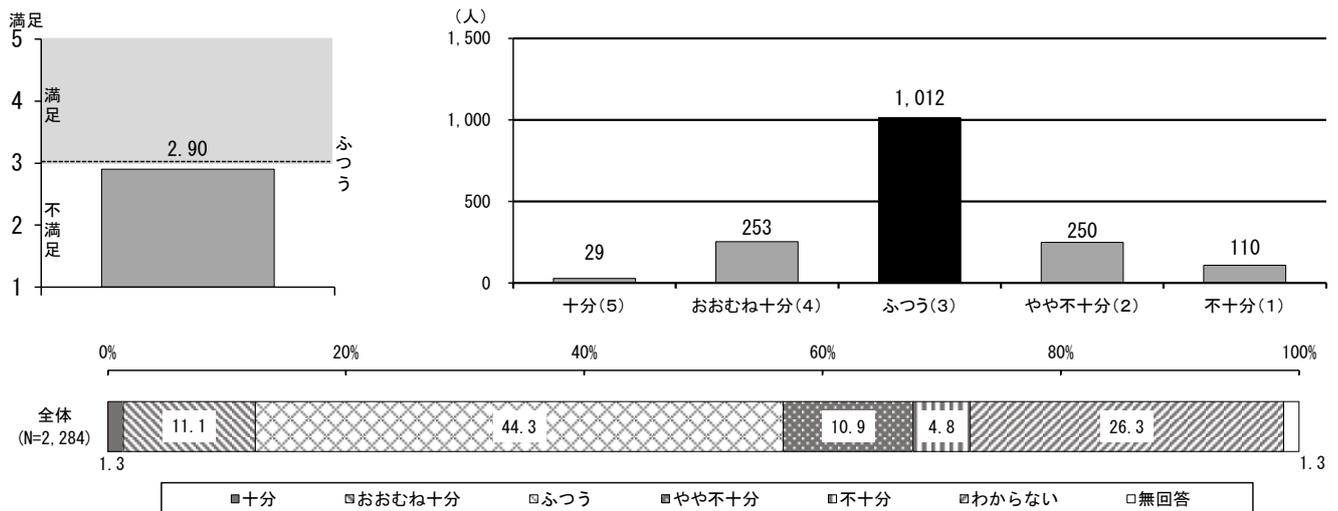
オ 地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化

問 1-1-28 県内の大学等で、地域の活性化につながる教育・研究・地域貢献が行われている。

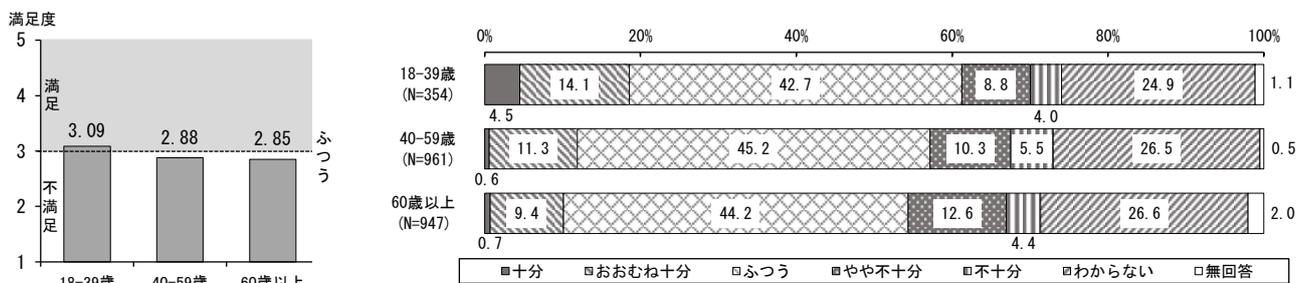
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.90で、「ふつう」の3より0.10低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は12.4%、「ふつう」は44.3%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は15.7%であった。また、不満を感じていない人の割合は56.7%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は3.09で最も高く、不満を感じていない人の割合は61.3%であった。一方、「60歳以上」の満足度は2.85で最も低く、不満を感じていない人の割合は54.3%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した360人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、62人(17.2%)から回答があった。

回答の一部

- もっと県内の大学等を利用すべきである。そこから、若者の地域に対する愛着が生まれると思う。(男性/60歳代/秋田地域)
- 大学間の連携、大学と地域の連携がますます広がると良いと思います。(女性/40歳代/鹿角地域)
- 学生と地域住民との交流はあまりないのではないかと。もっと交流する機会を増やしたほうが良いと思う。(男性/30歳代/秋田地域)

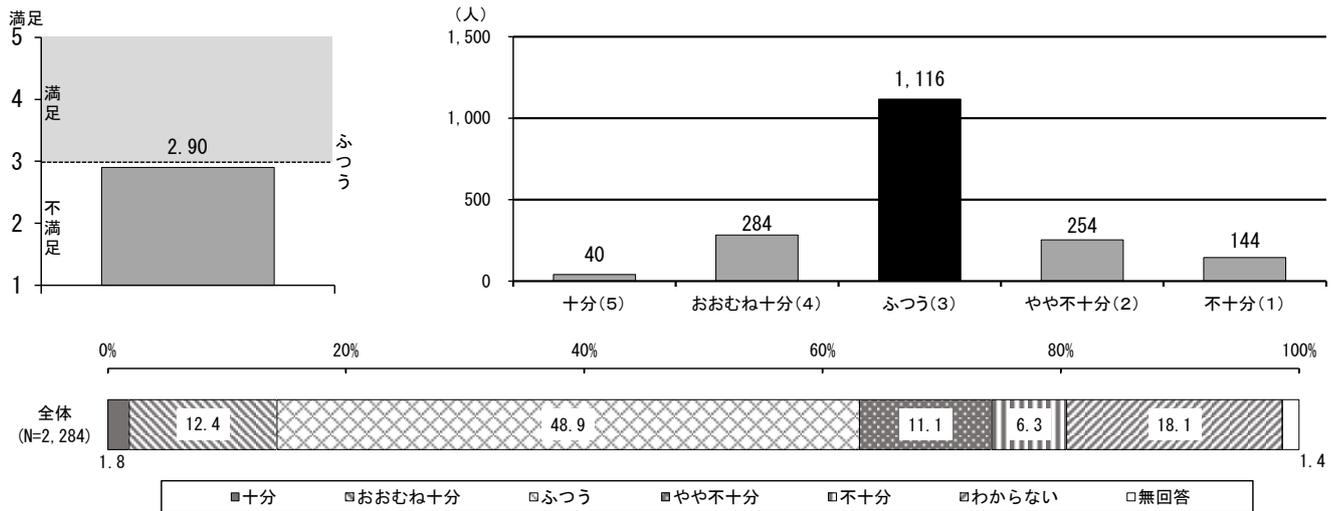
カ 生涯にわたり学び続けられる環境の構築

問 1-1-29 県民がライフステージや生活スタイルに応じて、生涯にわたり学び、文化芸術に触れる機会が提供されている。

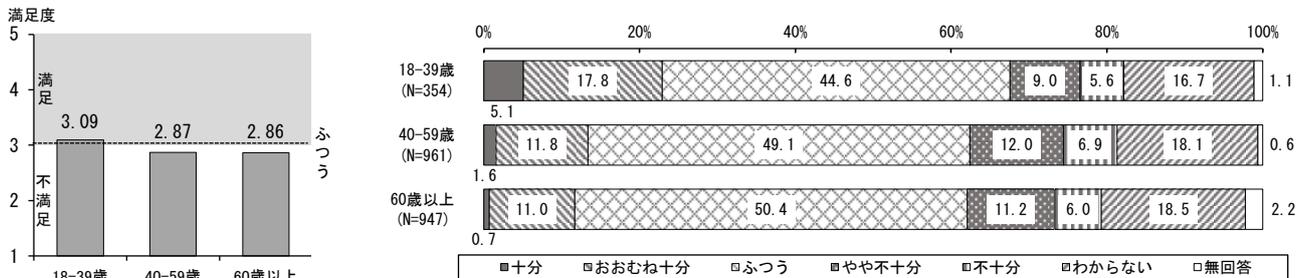
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.90で、「ふつう」の3より0.10低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は14.2%、「ふつう」は48.9%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は17.4%であった。また、不満を感じていない人の割合は63.1%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は3.09で最も高く、不満を感じていない人の割合は67.5%であった。一方、「60歳以上」の満足度は2.86で最も低く、不満を感じていない人の割合は62.1%であった。



(b) 「不十分」「やや不十分」の理由

「不十分」と「やや不十分」を選択した398人に理由や県に求める取組を自由記述形式で質問したところ、53人(13.3%)から回答があった。

回答の一部

- 県都中心になりがちであり、全県での取組を望む。(男性/60歳代/平鹿地域)
- 良いもの、素晴らしいものがあるのでもっと宣伝をし、提供する場所を多くしてほしいです。(女性/50歳代/秋田地域)
- 社会人でも夜間やオンライン学習でスキルアップできるように環境を整えてほしい。(男性/30歳代/秋田地域)

(7) 選択・集中プロジェクト及び重点施策推進方針について

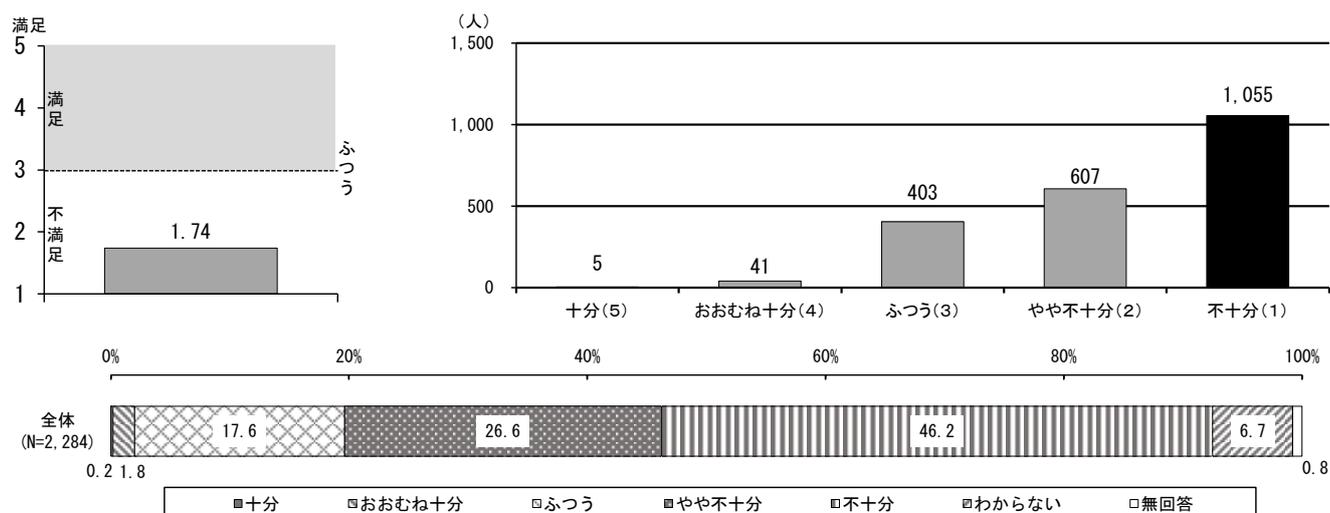
ア 賃金水準の向上

問 1-2-1 県内の「賃金水準が向上」している。

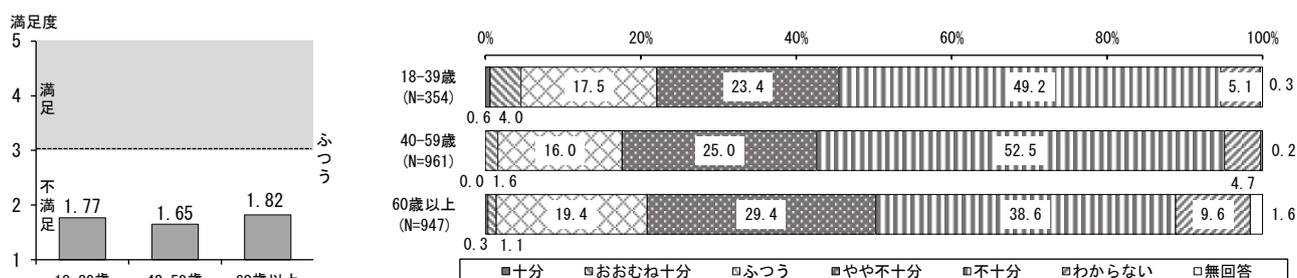
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は1.74で、「ふつう」の3より1.26低かった。回答は「不十分」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は2.0%、「ふつう」は17.6%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は72.8%であった。また、不満を感じていない人の割合は19.6%であった。



年代別では、「60歳以上」の満足度は1.82で最も高く、不満を感じていない人の割合は20.8%であった。一方、「40～59歳」の満足度は1.65で最も低く、不満を感じていない人の割合は22.1%であった。



イ カーボンニュートラルへの挑戦

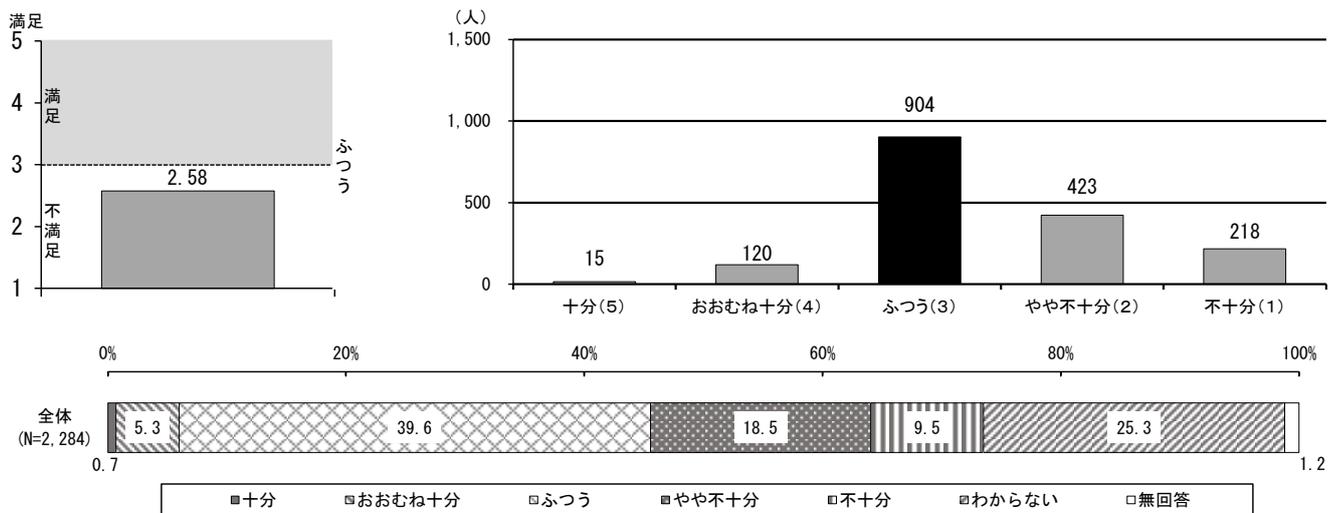
問 1-2-2 「カーボンニュートラル（※）」の実現に向けた取組が進んでいる。

※二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出を減らし、「排出量」から、森林などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。

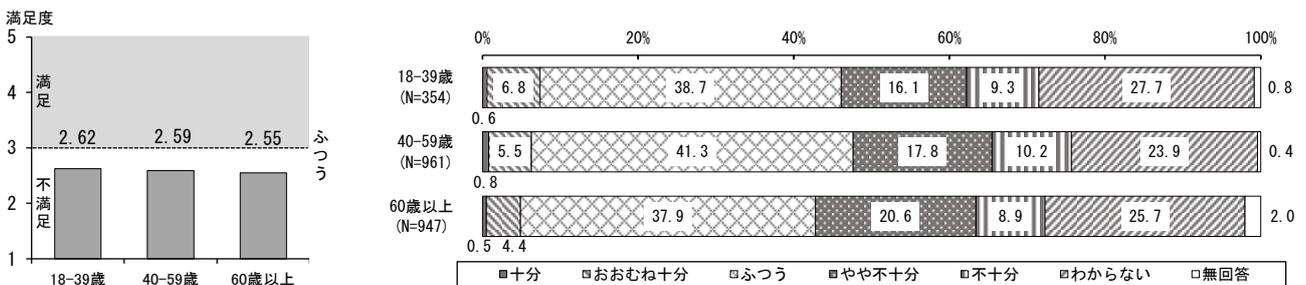
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.58で、「ふつう」の3より0.42低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は6.0%、「ふつう」は39.6%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は28.0%であった。また、不満を感じていない人の割合は45.6%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は2.62で最も高く、不満を感じていない人の割合は46.1%であった。一方、「60歳以上」の満足度は2.55で最も低く、不満を感じていない人の割合は42.8%であった。



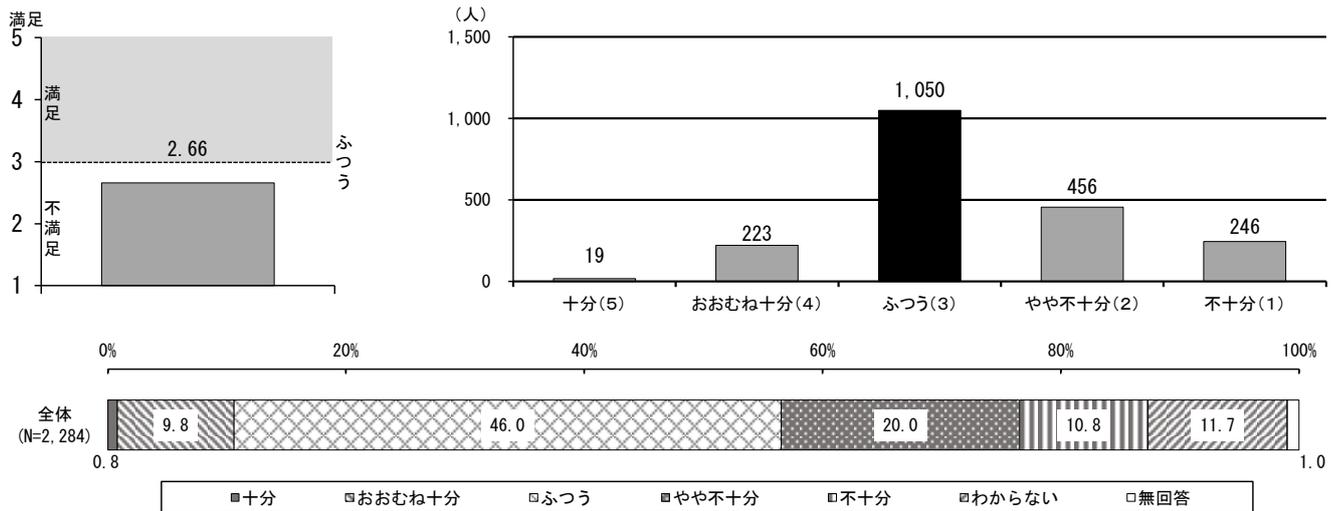
ウ デジタル化の推進

問 1-2-3 県民生活の様々な場面において、「デジタル化」が進んでいる。

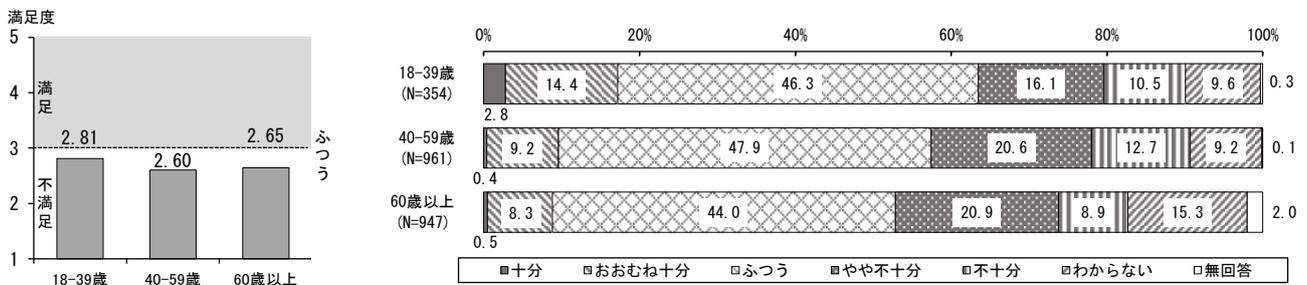
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は2.66で、「ふつう」の3より0.34低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は10.6%、「ふつう」は46.0%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は30.8%であった。また、不満を感じていない人の割合は56.6%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は2.81で最も高く、不満を感じていない人の割合は63.5%であった。一方、「40～59歳」の満足度は2.60で最も低く、不満を感じていない人の割合は57.5%であった。



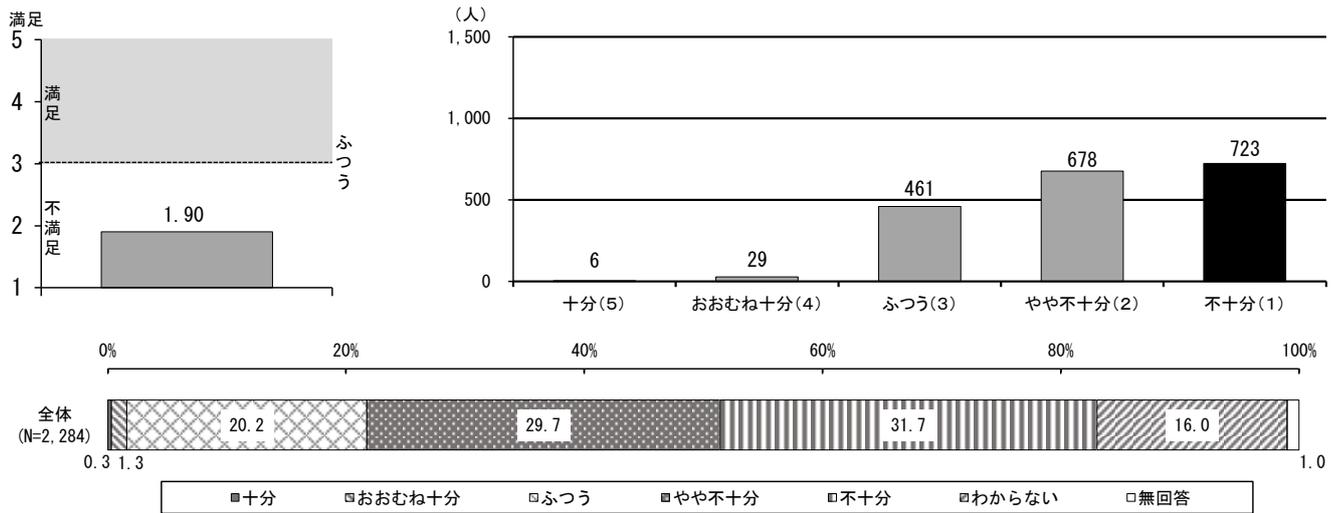
エ 若年女性の県内定着・回帰

問 1-2-4 「若年女性の県内定着・回帰」が進んでいる。

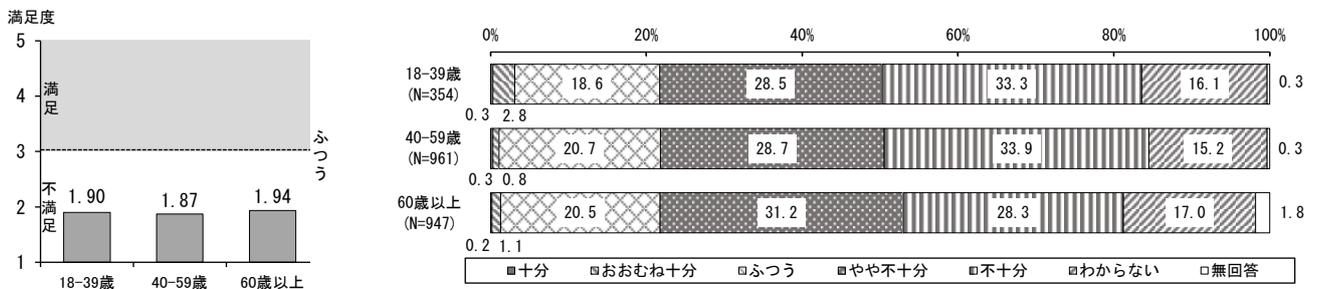
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は1.90で、「ふつう」の3より1.10低かった。回答は「不十分」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は1.6%、「ふつう」は20.2%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は61.4%であった。また、不満を感じていない人の割合は21.8%であった。



年代別では、「60歳以上」の満足度は1.94で最も高く、不満を感じていない人の割合は21.8%であった。一方、「40～59歳」の満足度は1.87で最も低く、不満を感じていない人の割合は21.8%であった。



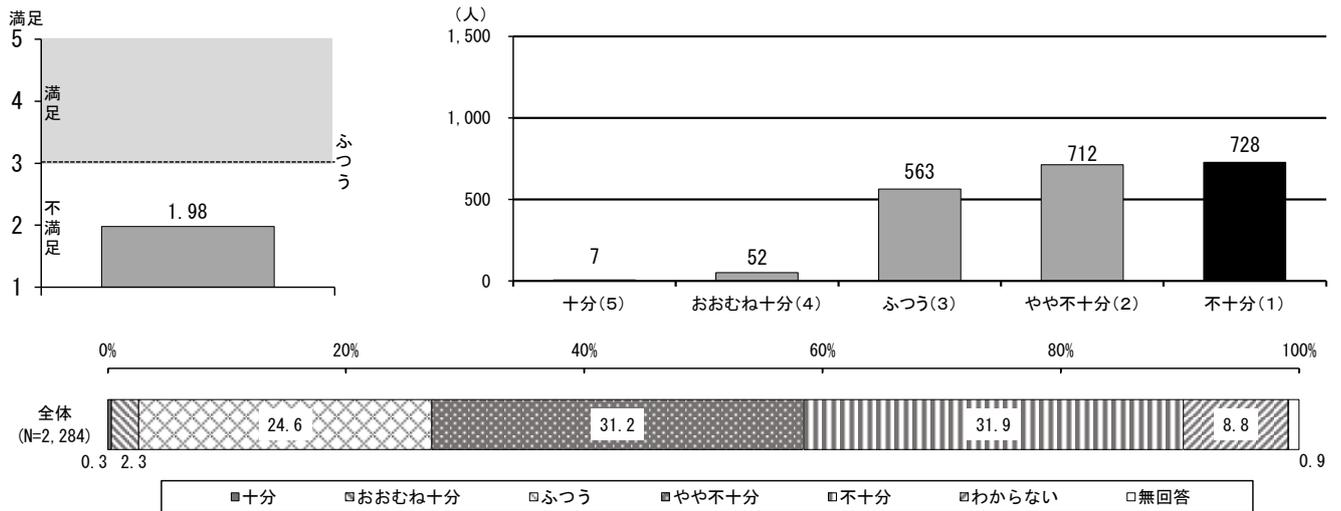
オ 魅力的な働く場の確保

問 1-2-5 「働く場の確保」や「労働環境の整備」など、魅力的な職場づくりが行われている。

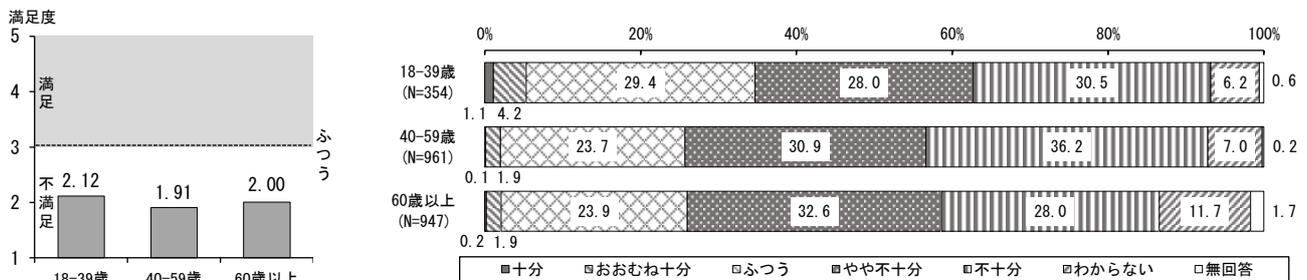
(a) 満足度の状況

5段階評価の満足度の平均値は1.98で、「ふつう」の3より1.02低かった。回答は「不十分」が最も多かった。

「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は2.6%、「ふつう」は24.6%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は63.1%であった。また、不満を感じていない人の割合は27.2%であった。



年代別では、「18～39歳」の満足度は2.12で最も高く、不満を感じていない人の割合は34.7%であった。一方、「40～59歳」の満足度は1.91で最も低く、不満を感じていない人の割合は25.7%であった。



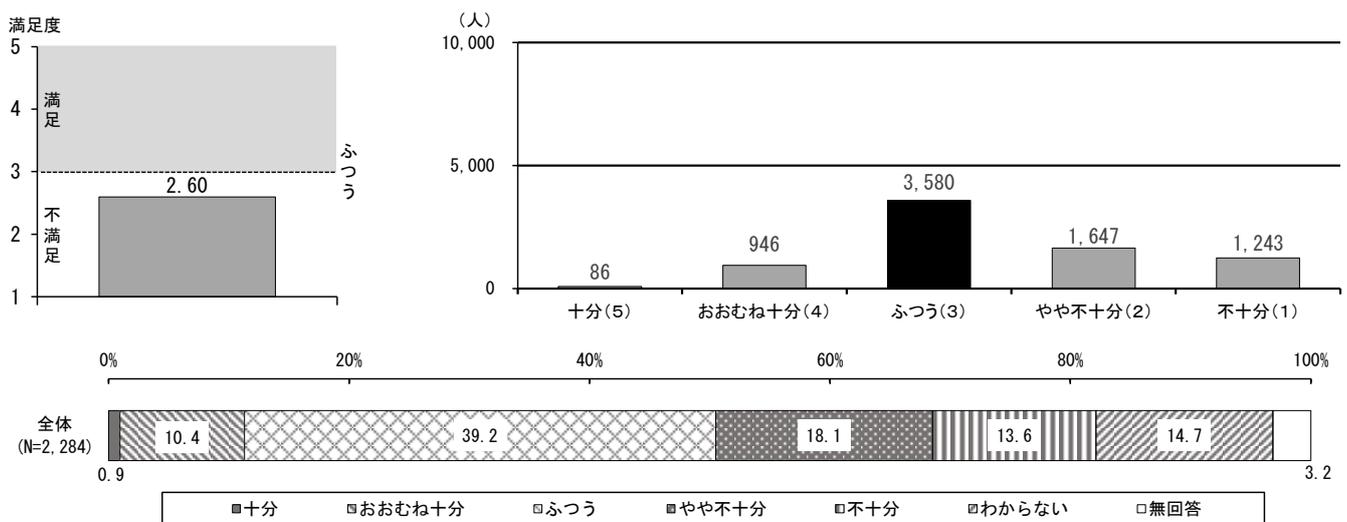
2 (参考) 各戦略の施策に関連する事柄についての満足度の平均値

「1 各戦略の施策に関連する事柄についての満足度」について、戦略ごとに平均値を計算した結果は次のとおりである。

戦略1 産業・雇用戦略 (問1-1～問1-4)

5段階評価の満足度の平均値は2.60で、「ふつう」の3より0.40低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

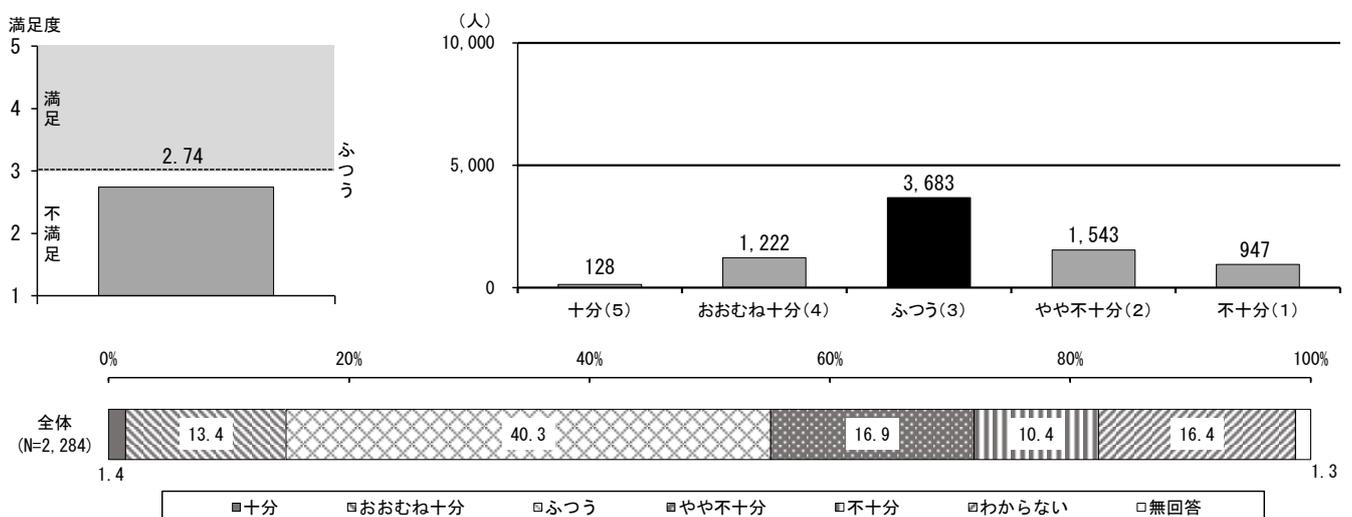
「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は11.3%、「ふつう」は39.2%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は31.7%であった。不満を感じていない人の割合は50.5%であった。



戦略2 農林水産戦略 (問1-5～問1-8)

5段階評価の満足度の平均値は2.74で、「ふつう」の3より0.26低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

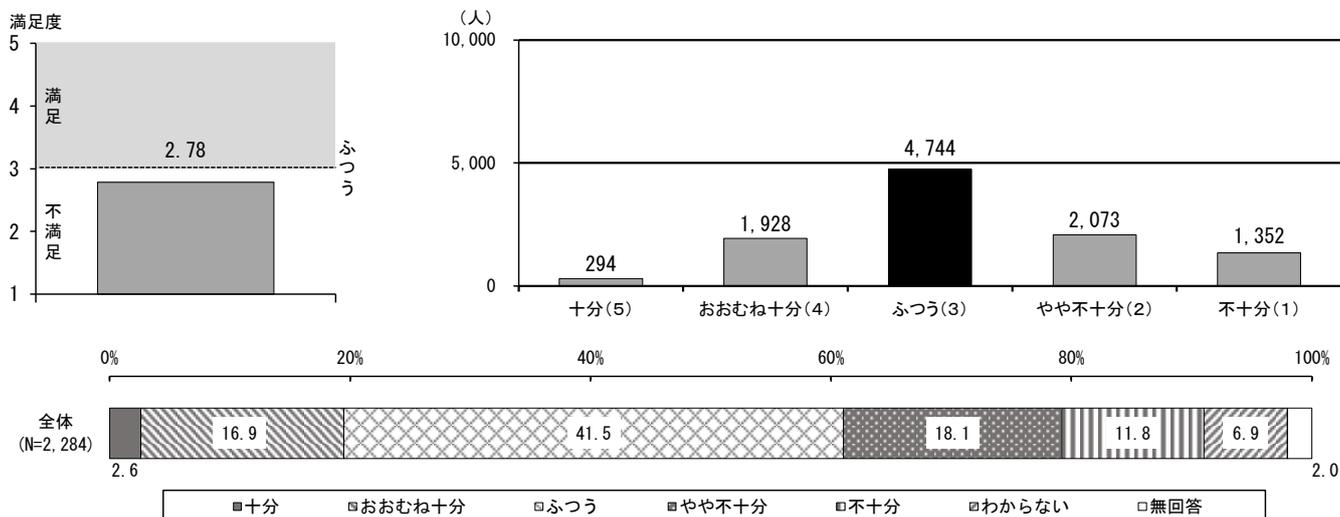
「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は14.8%、「ふつう」は40.3%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は27.3%であった。また、不満を感じていない人の割合は55.1%であった。



戦略3 観光・交流戦略（問1-9～問1-13）

5段階評価の満足度の平均値は2.78で、「ふつう」の3より0.22低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

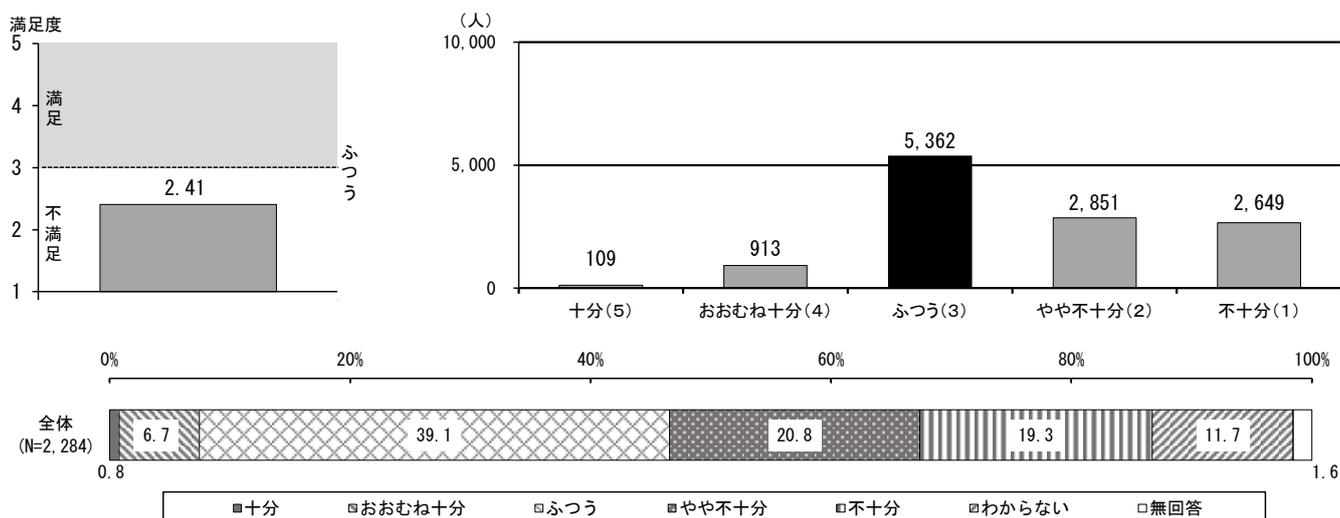
「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は19.5%、「ふつう」は41.5%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は29.9%であった。また、不満を感じていない人の割合は61.0%であった。



戦略4 未来創造・地域社会戦略（問1-14～問1-19）

5段階評価の満足度の平均値は2.41で、「ふつう」の3より0.59低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

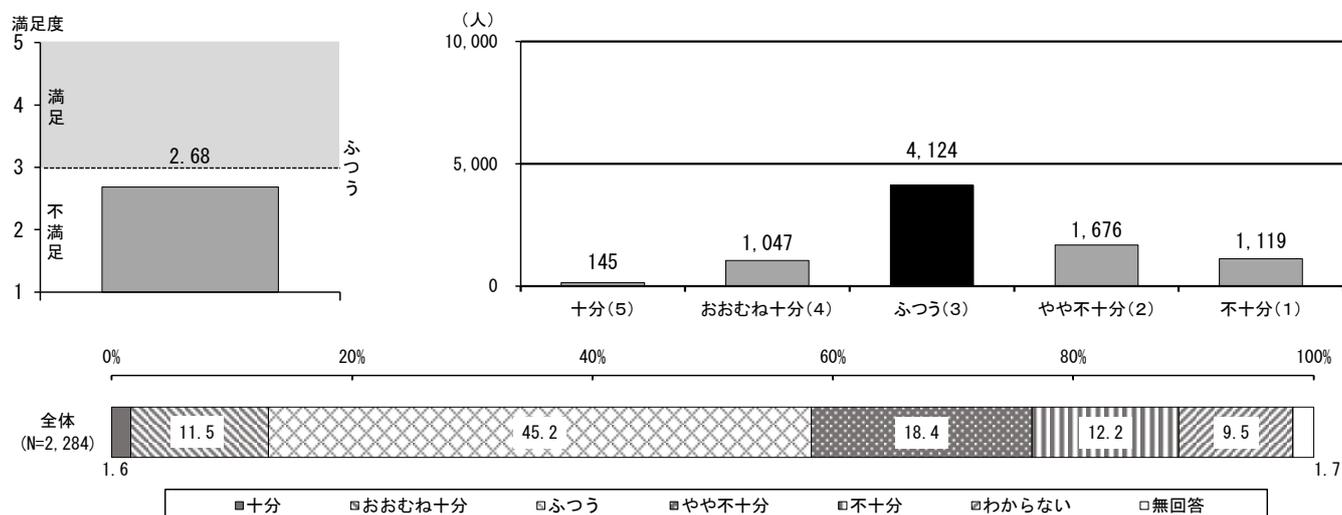
「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は7.5%、「ふつう」は39.1%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は40.1%であった。また、不満を感じていない人の割合は46.6%であった。



戦略5 健康・医療・福祉戦略（問1-20～問1-23）

5段階評価の満足度の平均値は2.68で、「ふつう」の3より0.32低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

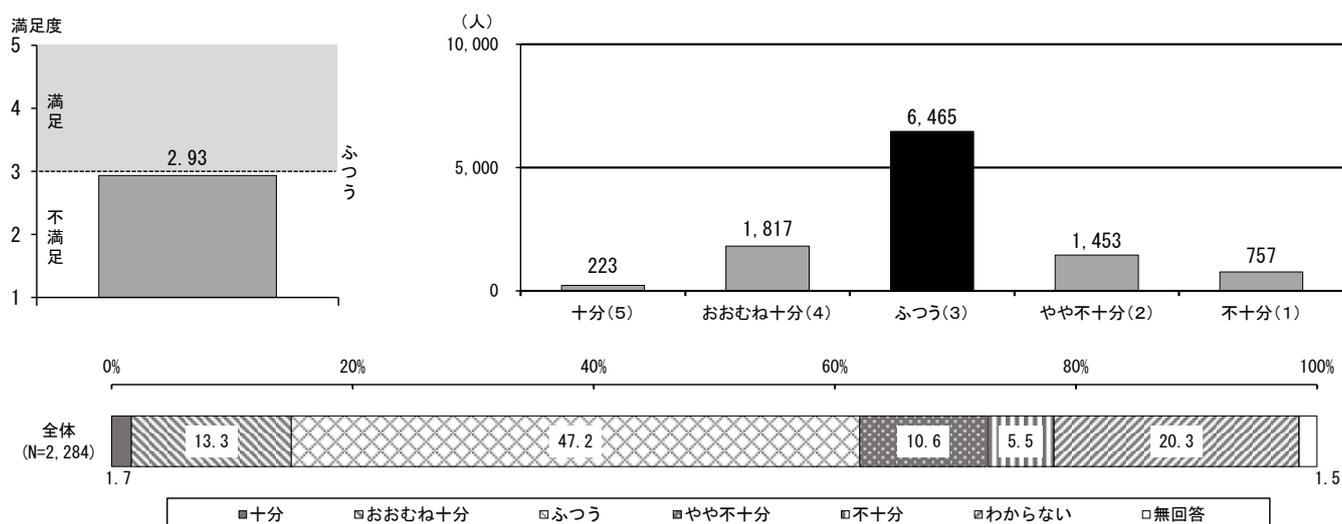
「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は13.1%、「ふつう」は45.2%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は30.6%であった。また、不満を感じていない人の割合は58.3%であった。



戦略6 教育・人づくり戦略（問1-24～問1-29）

5段階評価の満足度の平均値は2.93で、「ふつう」の3より0.07低かった。回答は「ふつう」が最も多かった。

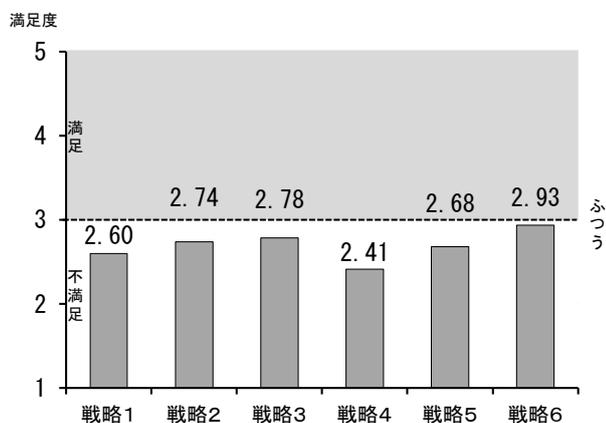
「十分」と「おおむね十分」を合わせた割合は15.0%、「ふつう」は47.2%、「不十分」と「やや不十分」を合わせた割合は16.1%であった。また、不満を感じていない人の割合は62.2%であった。



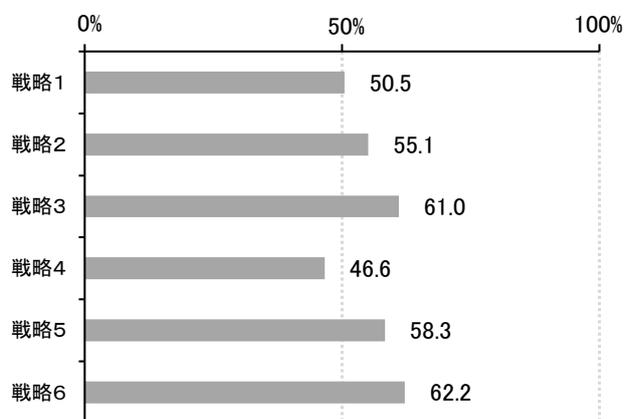
満足度の平均値が最も高かったのは、「戦略6 教育・人づくり戦略」の2.93（不満を感じていない人の割合は62.2%）、次いで「戦略3 観光・交流戦略」の2.78（同61.0%）であった。

一方、満足度の平均値が最も低かったのは、「戦略4 未来創造・地域社会戦略」の2.41（同46.6%）であった。

〔満足度の平均〕



〔不満を感じていない人の割合の平均値〕



※「満足度の平均」「不満を感じていない人の割合の平均値」とも、戦略を構成する施策の回答結果の平均値であり、各戦略そのものの満足度、割合ではない。